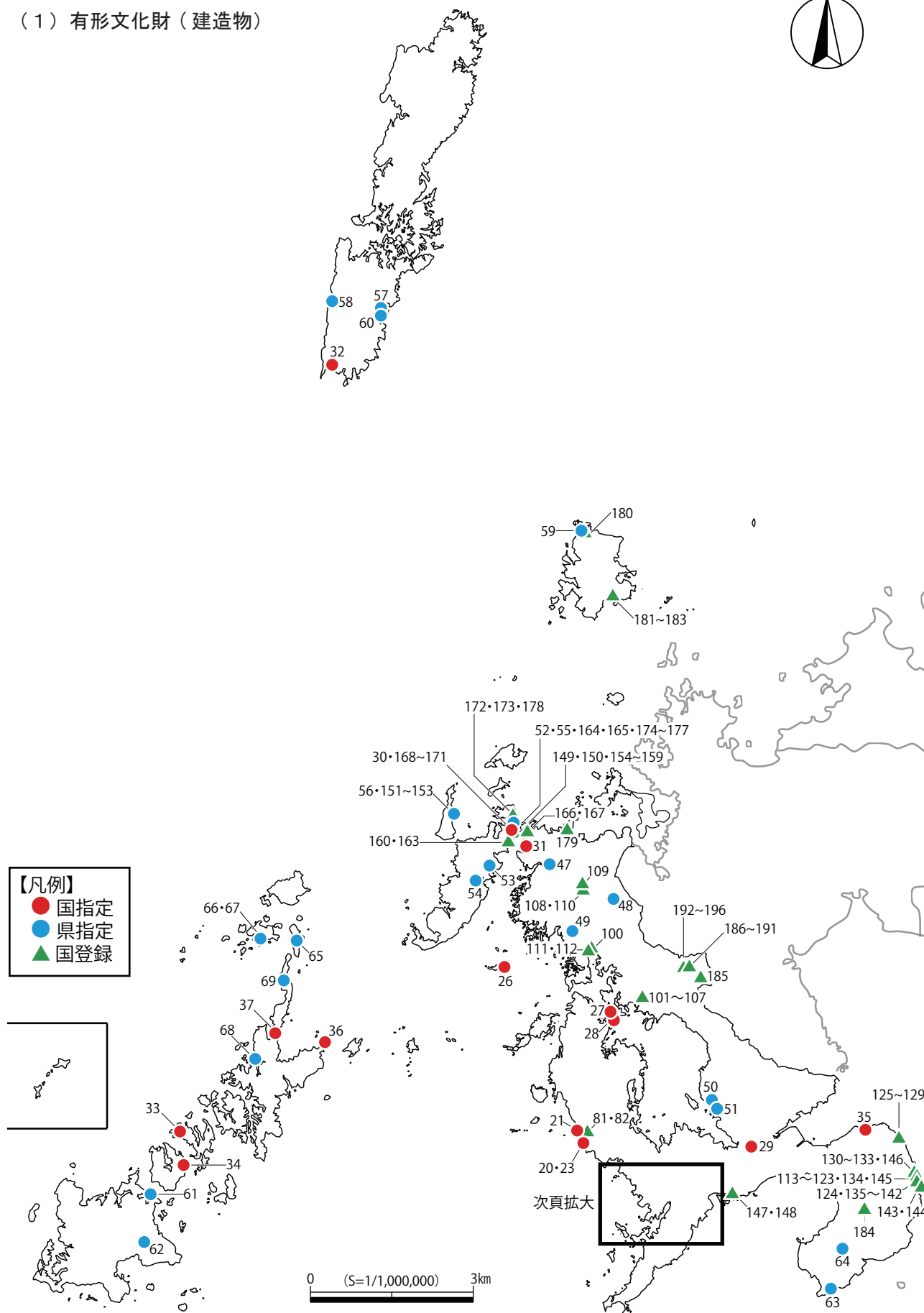
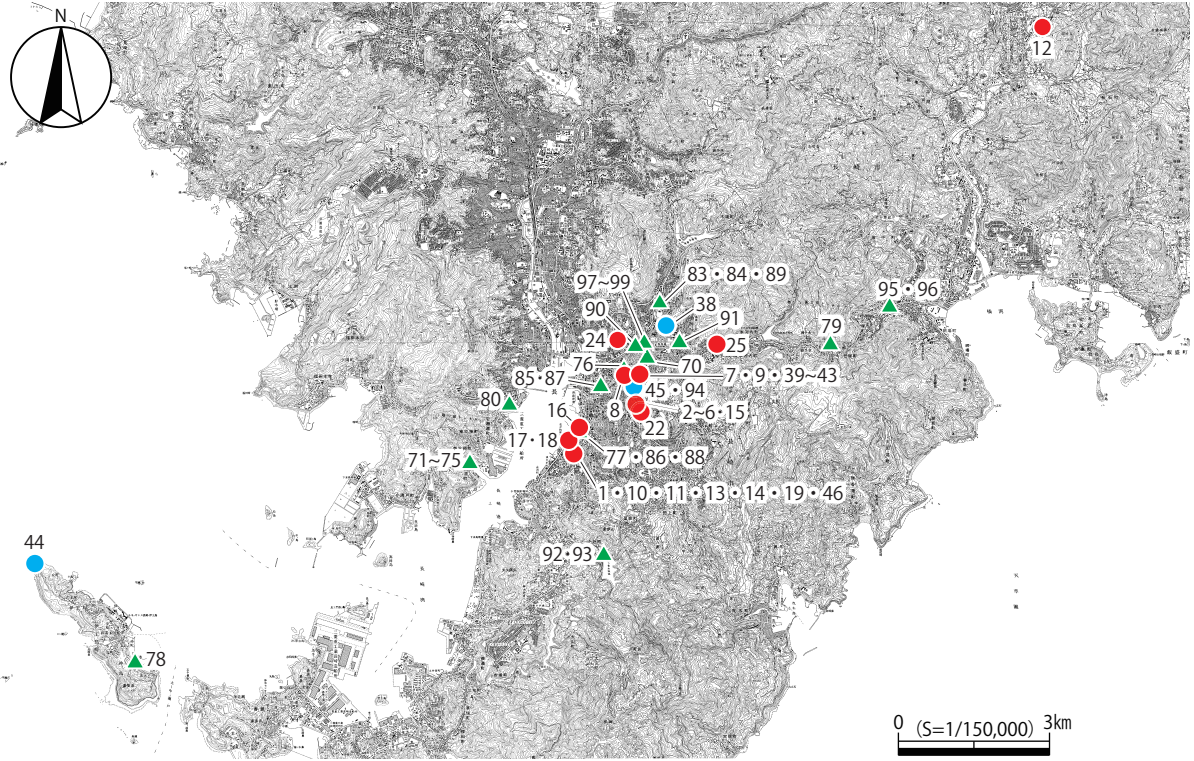


2. 長崎県の文化財分布図 (R3.1.1 現在)

(1) 有形文化財 (建造物)





国宝（建造物）（●）

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	大浦天主堂	長崎市	48	旧松浦炭坑事務所 一棟	佐世保市	98	国道34号 中之橋	長崎市
2	崇福寺第一峰門	長崎市	49	大宮姫神社本殿	佐世保市	99	国道34号 鎮西橋	長崎市
3	崇福寺大雄宝殿	長崎市	50	本經寺大村家墓碑群 墓石78基・石燈籠481基	大村市	100	佐世保市民文化ホール (旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)	佐世保市

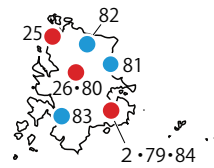
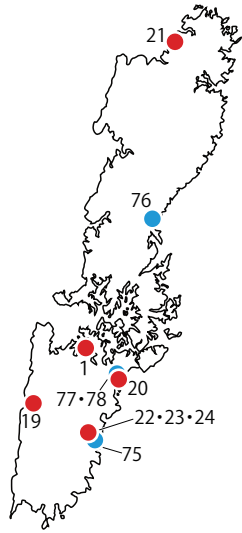
重要文化財（建造物）（●）

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	
4	崇福寺三門（楼門）	長崎市	51	旧橋本家住宅（主屋・離れ）	大村市	101	梅ヶ枝酒造瓶詰所	佐世保市	
5	崇福寺鐘鼓楼	長崎市	52	雄香寺開山堂	平戸市	102	梅ヶ枝酒造旧むろ	佐世保市	
6	崇福寺護法堂	長崎市	53	宝亀教会	平戸市	103	梅ヶ枝酒造旧仕込蔵	佐世保市	
7	興福寺本堂（大雄宝殿）	長崎市	54	紐差教会	平戸市	104	梅ヶ枝酒造貯蔵蔵	佐世保市	
8	眼鏡橋	長崎市	55	旧松浦家住宅 (千歳閣・九草斎・玄関)	平戸市	105	梅ヶ枝酒造旧北蔵	佐世保市	
9	旧唐人屋敷門	長崎市	56	益富家恵比須社霊殿	平戸市	106	梅ヶ枝酒造住居	佐世保市	
10	旧グラバー住宅	長崎市	57	旧日新館門	対馬市	107	梅ヶ枝酒造主屋	佐世保市	
11	旧リンガー住宅	長崎市	58	権根の石屋根倉庫	対馬市	108	吉田橋梁	佐世保市	
12	旧本田家住宅	長崎市	59	今屋敷の防火壁	対馬市	109	福井川橋梁	佐世保市	
13	旧オルト住宅	長崎市	60	聖母宮 本殿・西門・南門	宍粟市	110	吉井川橋梁	佐世保市	
14	旧羅典神学校	長崎市	61	堂崎教会	五島市	111	佐世保重工業二五〇トン起重機	佐世保市	
15	崇福寺媽祖門	長崎市	62	明星院本堂	五島市	112	旧佐世保鎮守府武庫預兵器庫	佐世保市	
16	旧長崎英国領事館	長崎市	63	旧長崎税関口之津支署庁舎	南島原市	113	清水家住宅主屋	島原市	
17	旧香港上海銀行長崎支店	長崎市	64	有馬の石橋群5橋	南島原市	114	青い理髪館（旧小林理髪館）	島原市	
18	旧長崎税関下り松派出所	長崎市	65	旧野首教会	小値賀町	115	保里川家住宅主屋	島原市	
19	東山手十二番館	長崎市	66	阿弥陀寺万日堂	小値賀町	116	宮崎商店店舗	島原市	
20	旧出津救助院	長崎市	67	旧小田家住宅 主屋・奥座敷・土蔵	小値賀町	117	宮崎商店焼酎蔵	島原市	
21	大野教会堂	長崎市	68	大曾教会	新上五島町	118	宮崎商店煙突	島原市	
22	清水寺本堂	長崎市	69	江袋教会	新上五島町	119	中野金物店主屋	島原市	
23	出津教会堂	長崎市				120	中野金物店防火壁	島原市	
24	聖福寺3棟 (大雄宝殿 天王殿 鐘楼 山門)	長崎市	登録有形文化財（建造物）（▲）				121	猪原金物店主屋	島原市
			番号	名称	所在地	122	鶴殿家住宅主屋	島原市	
25	本河内水源地下水道施設 二所 一基	長崎市	70	宮地獄八幡神社陶器製鳥居	長崎市	123	鶴殿家住宅旧主屋	島原市	
26	黒島天主堂	佐世保市	71	佐藤家住宅主屋	長崎市	124	西川家住宅	島原市	
27	旧佐世保無線電信所 (針尾送信所) 施設	佐世保市	72	佐藤家木造別棟	長崎市	125	加藤酒造店舗兼主屋	島原市	
28	西海橋	西海市	73	佐藤家木造附属屋	長崎市	126	加藤酒造井戸	島原市	
29	眼鏡橋	諫早市	74	佐藤家石造倉庫A	長崎市	127	加藤酒造門	島原市	
30	幸橋	平戸市	75	佐藤家石造倉庫B	長崎市	128	加藤酒造表土塀	島原市	
31	田平天主堂	平戸市	76	江崎べつ甲店	長崎市	129	加藤酒造裏土塀	島原市	
32	主藤家住宅	対馬市	77	池上家住宅	長崎市	130	小早川家住宅主屋	島原市	
33	江上天天主堂	五島市	78	馬込教会	長崎市	131	小早川家住宅門	島原市	
34	旧五輪教会堂	五島市	79	日見トンネル	長崎市	132	小早川家住宅石塀	島原市	
35	旧鶴島家住宅	雲仙市	80	三菱重工業長崎造船所 ハンマーヘッド型起重機	長崎市	133	小早川家住宅煉瓦塀	島原市	
36	頭ヶ島天主堂	新上五島町	81	橋口家住宅主屋	長崎市	134	島原城御馬見所	島原市	
37	青砂ヶ浦天主堂	新上五島町	82	橋口家住宅倉庫	長崎市	135	旧伊東家住宅（四明荘）主門	島原市	
			83	長崎大学造林会館	長崎市	136	旧伊東家住宅（四明荘）表門	島原市	
			84	長崎大学経済学部倉庫	長崎市	137	マルイチ祭斎斎場 (旧小林家住宅酒蔵)	島原市	
			85	小野原本店店舗兼主屋	長崎市	138	しまばら湧水館 (旧三村家住宅) 主屋	島原市	
			86	東山手十三番館住宅主屋	長崎市				
			87	小野原本店附属屋	長崎市	139	しまばら湧水館 (旧三村家住宅) 石柱門及び石塀	島原市	
			88	東山手十三番館住宅倉庫	長崎市				
			89	長崎大学経済学部拱橋	長崎市	140	しまばら湧水館 (旧三村家住宅) レンガ塀	島原市	
			90	長崎市旧市長公舎	長崎市	141	島崎家住宅主屋	島原市	
			91	中川橋	長崎市	142	島崎家住宅離れ	島原市	
			92	小ヶ倉ダム	長崎市	143	旧升金商店店舗兼主屋	島原市	
			93	小ヶ倉ダム管理橋	長崎市	144	旧升金商店事務所兼倉庫	島原市	
			94	料亭 春海	長崎市	145	中村家住宅長屋門	島原市	
			95	吉田家住宅主屋	長崎市	146	堤内家住宅亭	島原市	
			96	吉田家住宅長屋門	長崎市	147	旧小川家住宅石垣	諫早市	
			97	国道34号 一之橋	長崎市				

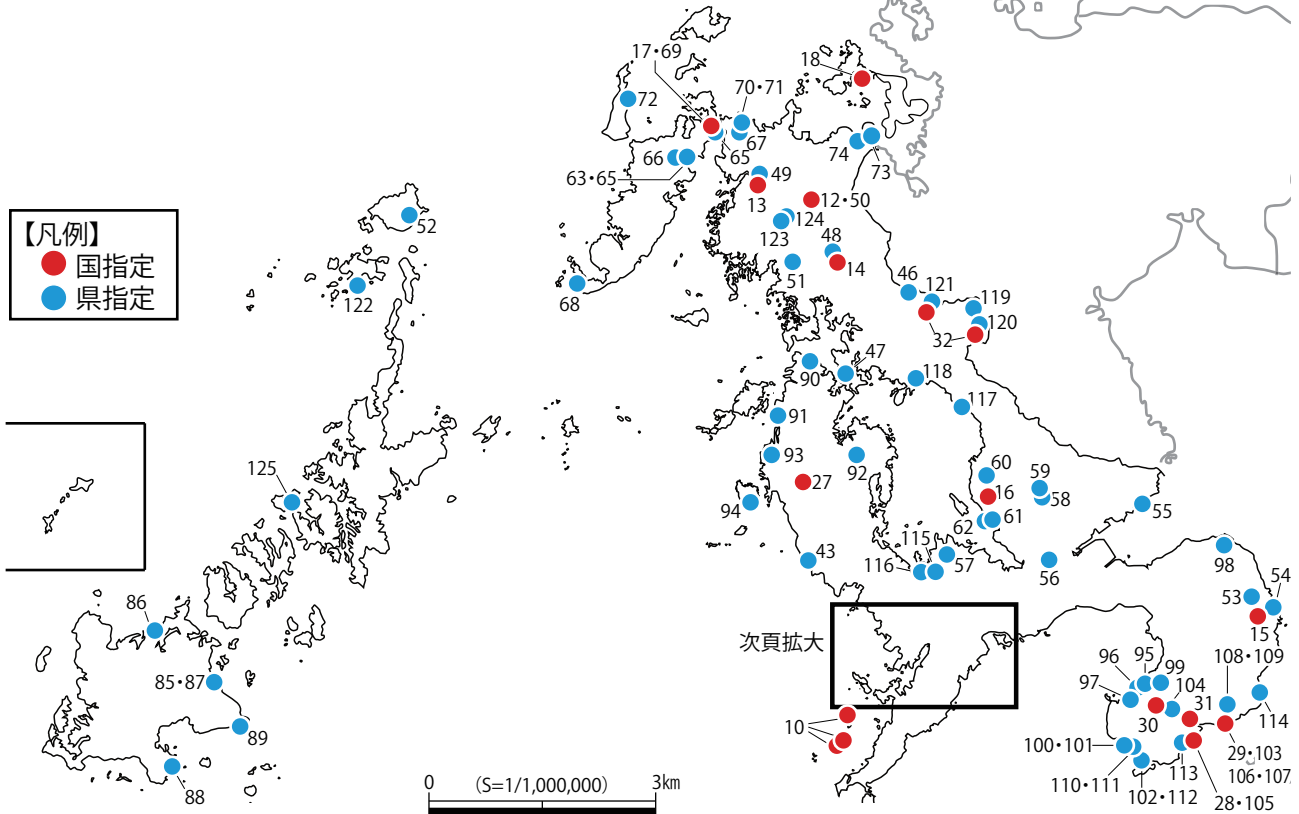
県指定有形文化財（建造物）（●）

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
38	東海の墓	長崎市	148	旧小川家住宅主屋	諫早市	149	大曲家住宅石段及び石垣	平戸市
39	興福寺山門	長崎市	150	大曲家住宅主屋	平戸市	151	益富家住宅座敷	平戸市
40	中島聖堂遺構大学門	長崎市	152	益富家住宅御成門	平戸市	153	益富家住宅主屋	平戸市
41	興福寺三江会所門	長崎市	154	大曲公家住宅石段及び石垣	平戸市	155	大曲公家住宅主屋	平戸市
42	興福寺媽祖堂	長崎市	156	内野家住宅門及び塀	平戸市	157	内野家住宅煉瓦塀	平戸市
43	興福寺鐘鼓楼	長崎市	158	内野家住宅石段	平戸市	159	内野家住宅主屋	平戸市
44	伊王島灯台旧吏員退息所	長崎市	160	梅ヶ谷津備菜園石垣	平戸市	161	梅ヶ谷津備菜園福荷社	平戸市
45	睦臺寺 山門・仁王門・大仏殿	長崎市	162	梅ヶ谷津備菜園 石塀及び石段	平戸市	163	梅ヶ谷津備菜園主屋	平戸市
46	旧長崎大司教館	長崎市	164	松浦史料博物館 (旧松浦詮郎) 閑雲亭待合	平戸市	165	松浦史料博物館 (旧松浦詮郎) 閑雲亭	平戸市
47	山下家のもと（飯）蔵	佐世保市	166	鮎川家住宅石垣及び石段	平戸市	167	鮎川家住宅主屋	平戸市
			168	龜岡神社幣殿及び登廊	平戸市	169	龜岡神社拝殿	平戸市
			170	龜岡神社神楽殿	平戸市	171	龜岡神社本殿	平戸市
			172	永山家住宅主屋	平戸市	173	永山家住宅隠居	平戸市
			174	松浦家住宅主屋	平戸市	175	松浦家住宅御守堂	平戸市
			176	金剛庫	平戸市	177	仙寓庫	平戸市
			178	旧角屋主屋	平戸市	179	旧長醫家住宅主屋	松浦市
			180	旧松本薬局店舗兼主屋	嵯峨市	181	碧雲荘 (旧熊本家住宅) 主屋	嵯峨市
			182	碧雲荘 (旧熊本家住宅) 門	嵯峨市	183	碧雲荘 (旧熊本家住宅) 石垣	嵯峨市
			184	雲仙觀光ホテル	雲仙市	185	中尾山うづわ処赤井倉	波佐見町
			186	今里酒造店舗及び住宅	波佐見町	187	今里酒造本蔵	波佐見町
			188	今里酒造中蔵	波佐見町	189	今里酒造新蔵	波佐見町
			190	今里酒造洗い場	波佐見町	191	今里酒造製品置き場	波佐見町
			192	旧波佐見町立中央小学校 講堂兼公会堂	波佐見町	193	福重家住宅主屋	波佐見町
			194	旧福幸製陶所事務所	波佐見町	195	旧福幸製陶所細工場	波佐見町
			196	旧福幸製陶所経書庫	波佐見町			

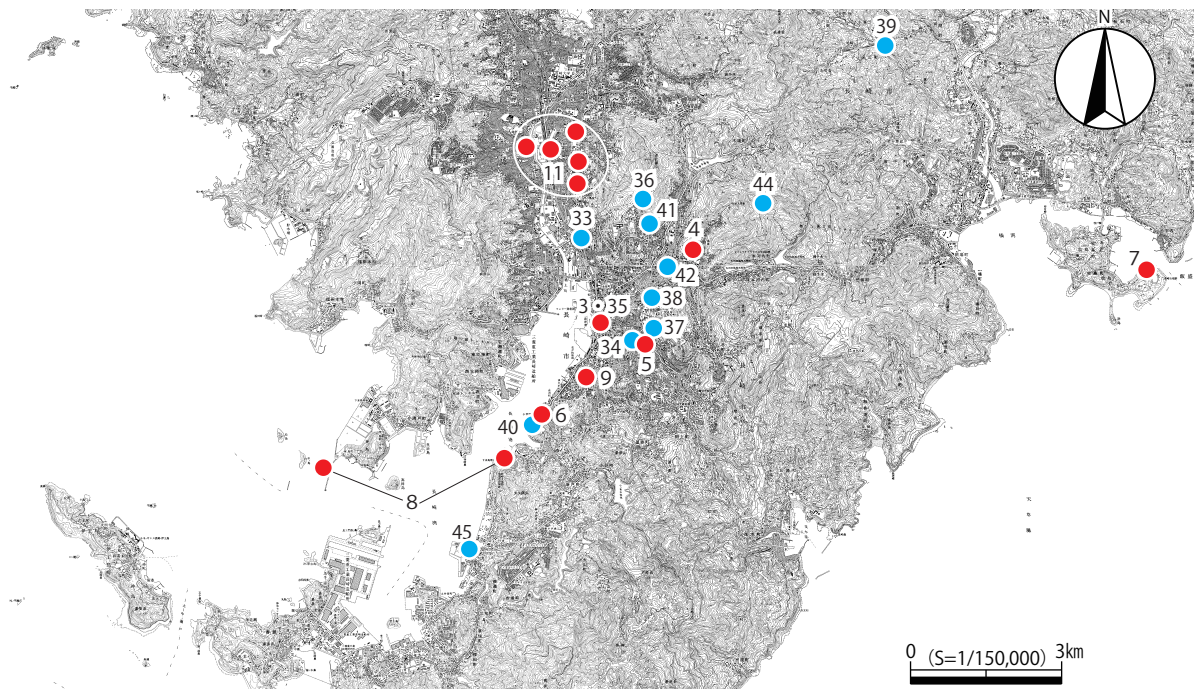
(2) 史跡



- 【凡例】
- 国指定
 - 県指定



次頁拡大



特別史跡 (●)

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	金田城跡	対馬市	43	ド・ロ神父遺跡	長崎市	91	中浦ジュリアン出生の地	西海市
2	原の辻遺跡	壱岐市	44	烽火山のかま跡	長崎市	92	西彼町のキリシタン墓碑	西海市

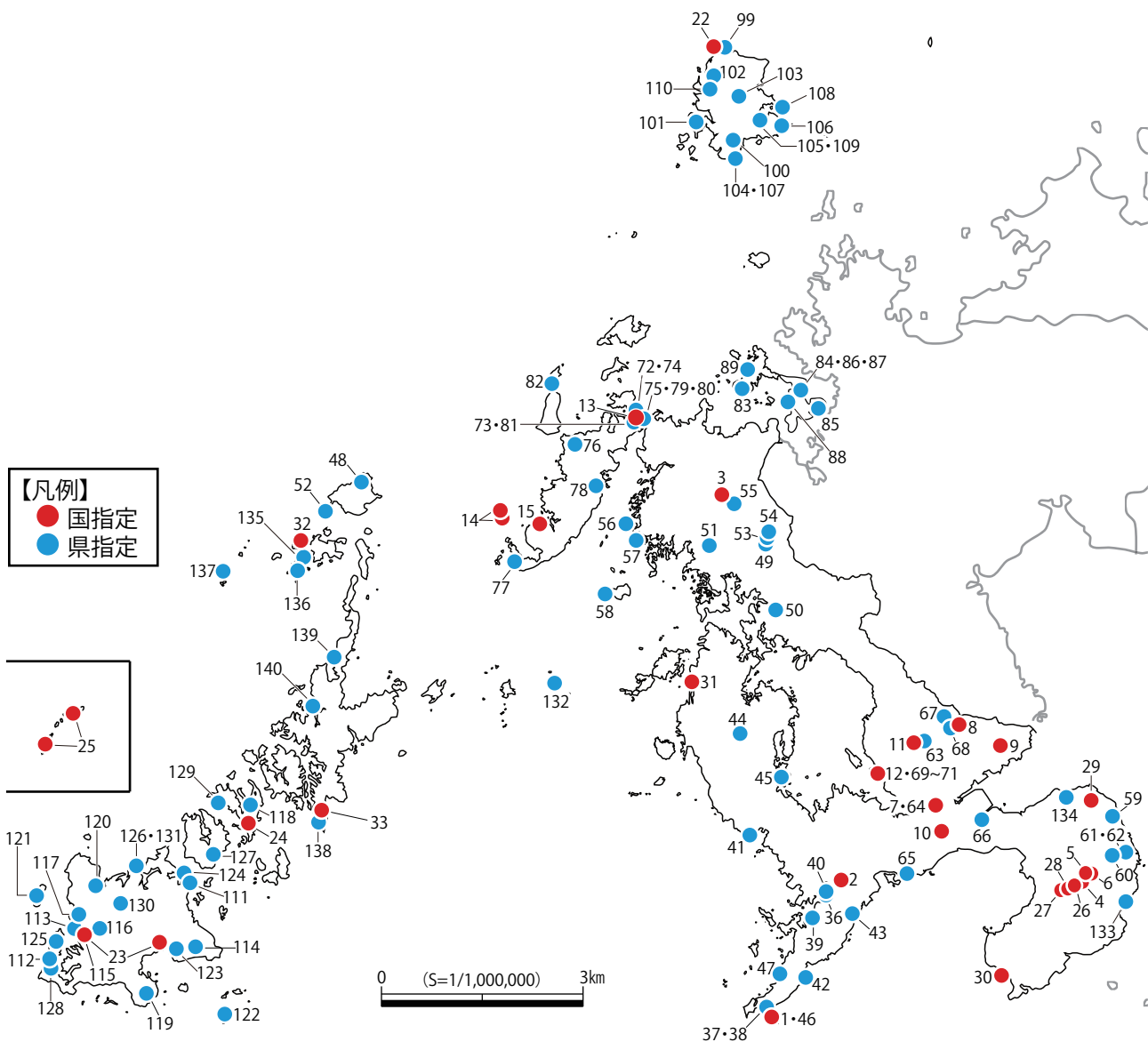
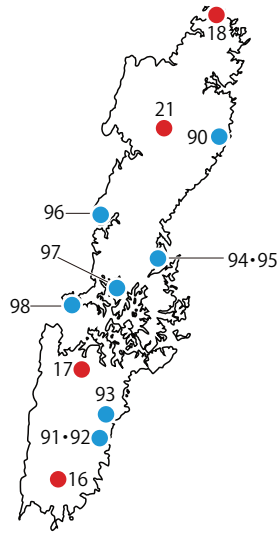
国指定史跡 (●)

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
3	出島和蘭商館跡	長崎市	45	国際海底電線小ヶ倉陸揚庫	長崎市	93	多以良の小佐々氏墓所	西海市
4	シーボルト宅跡	長崎市	46	葭之本窯跡	佐世保市	94	松島炭鉱第4坑跡	西海市
5	高島秋帆旧宅	長崎市	47	楠本端山旧宅と楠本家墓地土墳群7基	佐世保市	95	小浜町土手之元のキリシタン墓碑	雲仙市
6	小宮修船場跡	長崎市	48	佐世保市岩下洞穴	佐世保市	96	小浜町椎山のキリシタン墓碑	雲仙市
7	曲崎古墳群	長崎市	49	江迎本陣跡	佐世保市	97	南串山町のキリシタン墓碑	雲仙市
8	長崎台場跡	長崎市	50	直谷城跡	佐世保市	98	鬼の岩屋	雲仙市
9	大浦天主堂境内	長崎市	51	下本山岩陰遺跡	佐世保市	99	小浜町茂無田のキリシタン墓碑	雲仙市
10	高島炭鉱跡	長崎市	52	宇久松原遺跡	佐世保市	100	加津佐町砂原のキリシタン墓碑	南島原市
11	長崎原爆遺跡	長崎市	53	まだれいな銘キリシタン墓碑	島原市	101	加津佐町須崎のキリシタン墓碑	南島原市
12	福井洞窟	佐世保	54	島原城跡	島原市	102	口之津町白浜のキリシタン墓碑	南島原市
13	大野台支石墓群	佐世保	55	長戸鬼塚古墳	諫早市	103	西有家町里坊のキリシタン墓碑	南島原市
14	泉福寺洞窟	佐世保	56	諫早家墓所	諫早市	104	北有馬町西正寺のキリシタン墓碑	南島原市
15	旧島原藩薬園跡	島原市	57	琴尾山烽火台跡	諫早市	105	北有馬町谷川のキリシタン墓碑	南島原市
16	大村藩主大村家墓所	大村市	58	川頭遺跡	諫早市	106	有家町中須川のキリシタン墓碑	南島原市
17	平戸和蘭商館跡	平戸市	59	大雄寺の五百羅漢	大村市	107	有家町小川のキリシタン墓碑	南島原市
18	鷹島神崎遺跡	松浦市	60	大村藩お船蔵跡	大村市	108	有家町尾上のキリシタン墓碑	南島原市
19	矢立山古墳群	対馬市	61	五教館御成門	大村市	109	有家町力野のキリシタン墓碑	南島原市
20	根曾古墳群	対馬市	62	大村藩お船蔵跡	大村市	110	円通寺門礎石	南島原市
21	塔の首遺跡	対馬市	63	鄭成功居宅跡	平戸市	111	勤皇大智禪師大梅の塔	南島原市
22	清水山城跡	対馬市	64	積徳堂跡	平戸市	112	南蛮船来航の地	南島原市
23	対馬藩主宗家墓所	対馬市	65	コックスの甘藷畑跡	平戸市	113	南有馬町吉川のキリシタン墓碑	南島原市
24	金石城跡	対馬市	66	中野窯跡	平戸市	114	布津町キリシタン墓碑群	南島原市
25	勝本城跡	壱岐市	67	里田原遺跡	平戸市	115	長与の寺屋敷跡五輪塔群	長与町
26	壱岐古墳群	壱岐市	68	式内社志々伎神社跡	平戸市	116	長崎甚左衛門の墓	時津町
27	ホゲット石鍋製作遺跡	西海市	69	平戸の六角井戸	平戸市	117	彼杵の古墳	東彼杵町
28	原城跡	南島原市	70	笠松天神社古墳	平戸市	118	川棚町のキリシタン墓碑	川棚町
29	吉利支丹墓碑	南島原市	71	岳崎古墳	平戸市	119	波佐見町のキリシタン墓碑群	波佐見町
30	原山支石墓群	南島原市	72	鯨組主益富家居宅跡	平戸市	120	智恵治登窯跡	波佐見町
31	日野江城跡	南島原市	73	松浦党梶谷城跡	松浦市	121	三方境傍示石	波佐見町
32	肥前波佐見陶磁器窯跡	波佐見町	74	文禄の役松浦家供養塔	松浦市	122	神ノ崎遺跡	小直賀町
			75	対馬藩お船江跡	対馬市	123	神ノ瀬窯跡	佐々町
			76	対馬円通寺宗家墓地	対馬市	124	佐々町狸山支石墓群	佐々町
			77	出居塚古墳	対馬市	125	日島の石塔群	新上五島町
			78	サイノヤマ古墳	対馬市			
			79	壱岐国安国寺跡	壱岐市			
			80	壱岐国分寺跡	壱岐市			
			81	弘安の役瀬戸浦古戦場	壱岐市			
			82	文永の役新城古戦場	壱岐市			
			83	亀丘城跡	壱岐市			
			84	大塚山古墳	壱岐市			
			85	六角井	五島市			
			86	寄神貝塚	五島市			
			87	石田城跡	五島市			
			88	富江町・山崎の石墓	五島市			
			89	白浜貝塚	五島市			
			90	南蛮船来航の地	西海市			

県指定史跡 (●)

番号	名称	所在地
33	日本二十六聖人殉教地	長崎市
34	花月	長崎市
35	ケンベル、ツェンペリー記念碑	長崎市
36	長崎金星観測碑・観測台	長崎市
37	崇福寺の媽祖堂	長崎市
38	興福寺寺域	長崎市
39	現川焼陶窯跡	長崎市
40	戸町番所跡 四・五・六・七番石標柱	長崎市
41	鉦鹿家魏之琰兄弟の墓	長崎市
42	トードス・オス・サントス跡	長崎市

(3) 天然記念物



国指定天然記念物 (●)

番号	種別	名称	所在地	番号	種別	名称	所在地
1	動物	オオウナギ生息地	長崎市	67	植物	多良岳せんだいそう群落	大村市
2	植物	キイレツチトリモチ自生北限地	長崎市	68	植物	五ヶ原岳ツクシヤクナゲ群落	大村市
3	植物	御橋観音羊歯植物群落	佐世保市	69	植物	大村城跡のマキ	大村市
4	植物	野岳いぬつげ群落	島原市	70	植物	大村神社のクシマザクラ	大村市
			雲仙市	71	植物	玖島崎樹叢	大村市
			南島原市	72	植物	平戸市中の浦の蘇鉄群落	平戸市
5	植物	普賢岳紅葉樹林	島原市	73	植物	亀岡のまき並木	平戸市
			雲仙市	74	植物	平戸古館のヒロウ自生地	平戸市
			南島原市	75	植物	平戸口のヒロウ自生地	平戸市
			島原市	76	動物	平戸のシカ	平戸市
6	地質鉱物	平成新山	雲仙市	77	植物	志自岐神社地の宮、沖の宮社叢	平戸市
			諫早市	78	植物	平戸の沖の島樹叢	平戸市
7	植物	諫早市城山暖地性樹叢	諫早市	79	植物	海寺跡のハクモクレン	平戸市
8	植物	多良岳ツクシヤクナゲ群落	諫早市	80	植物	是心寺のソテツ	平戸市
9	植物	小長井のオガタモノキ	諫早市	81	植物	平戸石川のハルサザンカ	平戸市
10	植物	女夫木のオスギ	諫早市	82	地質鉱物	生月町塩俵断崖の柱状節理	平戸市
11	植物	大村のイチイガシ天然林	大村市	83	植物	鷹島の公孫樹	松浦市
12	植物	大村神社のオオムラザクラ	大村市	84	地質鉱物	弁天島岩脈	松浦市
13	植物	黒子島原始林	平戸市	85	地質鉱物	喜内瀬川區穴群	松浦市
14	天然保護区域	阿値賀島	平戸市	86	植物	福寿寺のイロハモミジ	松浦市
15	植物	平戸礫岩の岩石地植物群落	平戸市	87	植物	福島町の今山神社社叢	松浦市
16	植物	龍良山原始林	対馬市	88	地質鉱物	櫃崎岩脈	松浦市
17	植物	洲藻白嶽原始林	対馬市	89	植物	鷹島町住吉神社のアコウ	松浦市
18	植物	鱒浦ヒトツバタゴ自生地	対馬市	90	植物	対馬琴のイチョウ	対馬市
19	動物	ツシマヤマネコ	対馬市	91	動物	キタタキはく製標本	対馬市
20	動物	ツシマテン	対馬市	92	植物	万松院の大スギ	対馬市
21	動物	御岳鳥類繁殖地	対馬市	93	動物	阿須川のアキマドボタル生息地	対馬市
22	植物	辰の島海浜植物群落	壱岐市	94	地質鉱物	千尋島の漣痕	対馬市
23	植物	へゴ自生北限地帯	五島市	95	植物	六御前神社のイチョウ	対馬市
24	植物	奈留島権現山樹叢	五島市	96	植物	対馬海神社の社叢	対馬市
25	天然保護区域	男女群島	五島市	97	植物	豊玉の和多都美神社社叢	対馬市
26	植物	池ノ原ミヤマキリシマ群落	雲仙市	98	植物	対馬唐洲の大ソテツ	対馬市
27	植物	原生沼沼野植物群落	雲仙市	99	植物	勝本のハイビャクシン群落	壱岐市
28	植物	地獄地帯シロドウダン群落	雲仙市	100	植物	壱岐志原のスヤクジャク群落	壱岐市
29	植物	土黒川のオキチモズク発生地	雲仙市	101	植物	壱岐渡良のアコウ	壱岐市
30	植物	岩戸山樹叢	南島原市	102	植物	壱岐報恩寺のモクセイ	壱岐市
31	地質鉱物	七釜鍾乳洞	西海市	103	植物	壱岐国分のヒイラギ	壱岐市
32	地質鉱物	斑島玉石區穴	小値賀町	104	地質鉱物	初瀬の岩脈	壱岐市
33	植物	奈良尾のアコウ	新上五島町	105	植物	壱岐安国寺のスギ	壱岐市
34	動物	カラスバト	長崎県全域	106	植物	壱岐白沙八幡神社社叢	壱岐市
35	動物	ヤマネ	長崎県全域	107	植物	壱岐の鏡岳神社社叢	壱岐市

県指定天然記念物 (●)

番号	種別	名称	所在地	番号	種別	名称	所在地
36	植物	大徳寺の大クス	長崎市	108	地質鉱物	壱岐長者原化石層	壱岐市
37	植物	脇岬ノアサガオ群落	長崎市	109	地質鉱物	壱岐産ステゴドン象化石	壱岐市
38	植物	弁天山樹叢	長崎市	110	地質鉱物	壱岐のステゴドン象化石産出地	壱岐市
39	地質鉱物	長崎市小ヶ倉の褶曲地層	長崎市	111	植物	五島樫の浦のアコウ	五島市
40	植物	デジマノキ	長崎市	112	植物	五島玉之浦のアコウ	五島市
41	地質鉱物	三重海岸変成鉱物の産地	長崎市	113	植物	丹奈のへゴ、リュウビンタイ混交群落	五島市
42	植物	川原大池樹林	長崎市	114	地質鉱物	鬼岳火山産地	五島市
43	地質鉱物	茂木植物化石層	長崎市	115	植物	荒川のハマジンチョウ	五島市
44	植物	琴海のカネコシダ群落	長崎市	116	植物	七岳のリュウビンタイ群落	五島市
45	植物	琴海のヒイラギ	長崎市	117	植物	頓泊のカラタチ群落	五島市
46	地質鉱物	脇岬のピーテロック	長崎市	118	植物	船廻神社社叢	五島市
47	地質鉱物	野母崎の変はんれい岩露出地	長崎市	119	地質鉱物	富江溶岩トンネル「井坑」	五島市
48	植物	蘇鉄の巨樹	佐世保市	120	地質鉱物	漣痕	五島市
49	植物	藤山神社の大フジ	佐世保市	121	地質鉱物	嵯峨島火山海食崖	五島市
50	植物	子安観音の大クス	佐世保市	122	地質鉱物	黄島溶岩トンネル	五島市
51	植物	東漸寺の大クス	佐世保市	123	植物	福江の大ツバキ	五島市
52	地質鉱物	寺島玉石區穴	佐世保市	124	地質鉱物	福江椎木山の漣痕	五島市
53	植物	西光寺のオオムラザクラ	佐世保市	125	植物	島山島のへゴ自生地	五島市
54	植物	世知原の大山祇神社社叢	佐世保市	126	植物	巖立神社社叢	五島市
55	植物	吉井町の吉田大明神社社叢	佐世保市	127	植物	久賀島のツバキ原始林	五島市
56	植物	小佐々のハカマカズラ	佐世保市	128	植物	白鳥神社の社叢	五島市
57	地質鉱物	小佐々野島の淡水貝化石含有層	佐世保市	129	植物	奈留島蘆ノ浦のハマジンチョウ群落	五島市
58	地質鉱物	串ノ浜岩脈	佐世保市	130	植物	岐宿町タヌキアヤマ群落	五島市
59	植物	有明町の大樟	島原市	131	植物	五島八鼻島の海岸植物	五島市
60	植物	島原のシマバライチゴ自生地	島原市	132	植物	大立島の植物群落	西海市
61	植物	熊野神社の大楠	島原市	133	植物	深江町諏訪神社の社叢	南島原市
62	植物	熊野神社の大椋	島原市	134	植物	長栄寺のひいらぎ	雲仙市
63	植物	富川のかつら	諫早市	135	地質鉱物	古路島の岩頭	小値賀町
64	植物	諫早神社のクス群	諫早市	136	地質鉱物	大島巨大火山弾産地	小値賀町
65	植物	飯盛町のヘツカニガキ	諫早市	137	天然保護区域	美良島	小値賀町
66	植物	森山西小学校のアベマキ	諫早市	138	植物	奈良尾へゴ自生地	新上五島町
				139	地質鉱物	新魚目曾根火山赤ダキ断崖	新上五島町
				140	植物	五島青方のウバメガシ	新上五島町

(4) 名勝



国指定特別名勝 (●)

番号	名 称	所在地
1	温泉岳	島原市 雲仙市 南島原市

国指定名勝 (●)

番号	名 称	所在地
2	平戸領地方八奇勝 (平戸八景) 高巖 潜龍水 石橋 大悲観 巖屋宮 福石山 潮之目	佐世保市
3	旧円融寺庭園	大村市
4	棲霞園及び梅ヶ谷津借楽園	平戸市
5	旧金城庭園	対馬市
6	石田城五島氏庭園	五島市
7	三井楽 (みみらくのしま)	五島市

県指定名勝 (●)

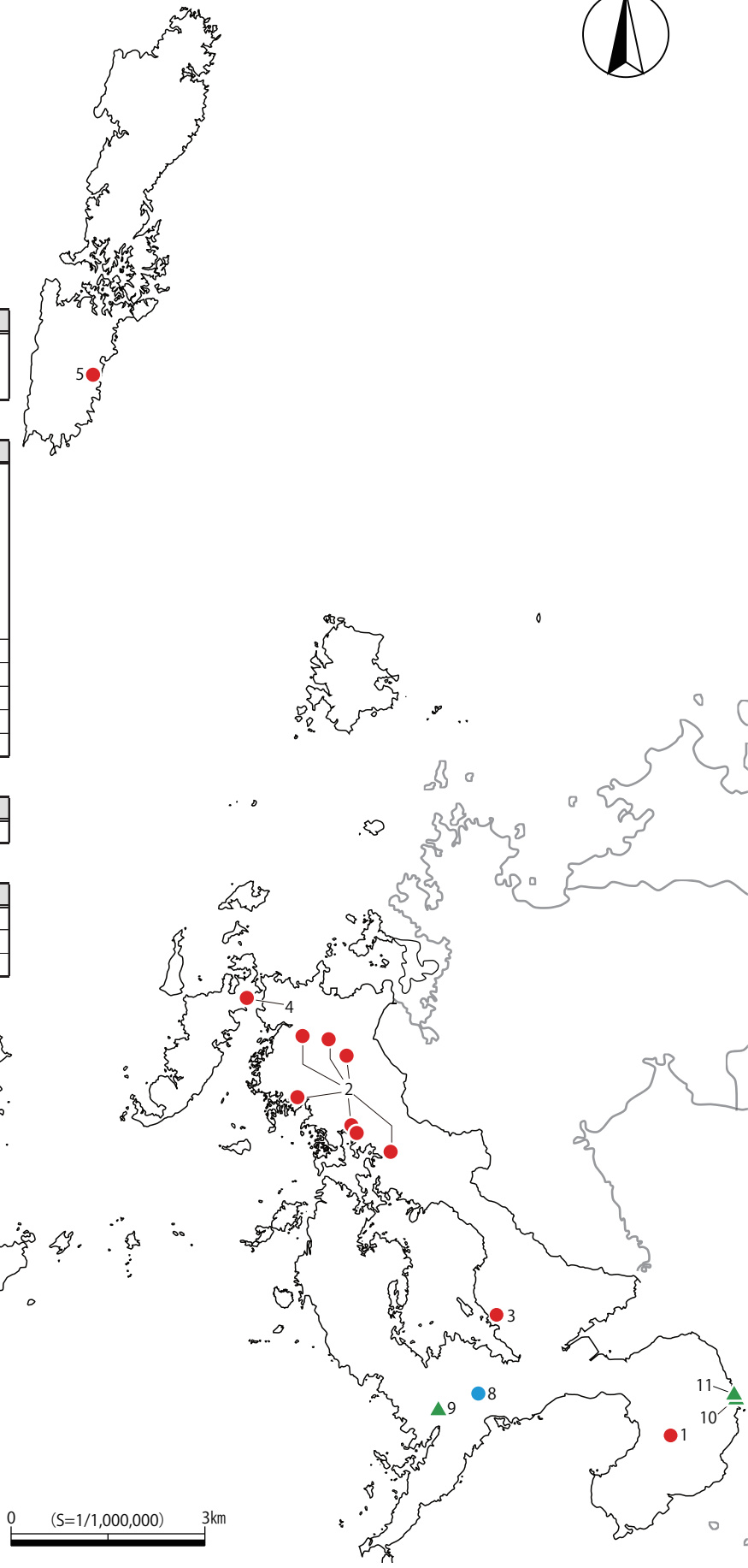
番号	名 称	所在地
8	滝の観音	長崎市

国登録記念物 (名勝地) (▲)

番号	名 称	所在地
9	平和公園	長崎市
10	旧伊東氏庭園 (四明荘庭園)	島原市
11	小早川氏庭園	島原市

【凡例】

- 国指定
- 県指定
- ▲ 国登録



3. 長崎県歴史年表

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史) 県史跡
旧石器時代	ナウマンゾウやオオツノジカが生息。	ナイフ形石器などの剥片石器が盛んに作られる。	
縄文時代	土器の出現。 弓矢の出現。	洞窟遺跡が展開。	【史】泉福寺洞窟（佐世保市） 【史】福井洞窟（佐世保市） 【重】長崎県泉福寺洞窟出土品（佐世保市） 【重】長崎県福井洞窟出土品（佐世保市）
	縄文文化の展開。	岩陰遺跡、開地遺跡、貝塚など多様な遺跡が展開。	【重】長崎県佐賀貝塚出土品（対馬市） (史) 岩下洞穴（佐世保市） (史) 下本山岩陰遺跡（佐世保市） (史) 川頭遺跡（諫早市） (史) 白浜貝塚（五島市）
弥生時代	水稻耕作の開始。	支石墓群の流入。	【史】原山支石墓群（南島原市） 【史】大野台支石墓群（佐世保市） (史) 宇久松原遺跡（佐世保市） (史) 佐々町狸山支石墓群（佐々町）
	農耕集落の出現。 金属器の使用。 57 倭の奴国王が後漢の光武帝から金印を賜る。 239 邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使いを送る。	五島列島に多くの貝塚が形成される。 各地で石棺墓が作られる。 対馬で青銅器の副葬や埋納が始まる。 魏志倭人伝に対馬国・一支国（いきこく）が記される。	(史) 里田原遺跡（平戸市） (史) 寄神貝塚（五島市） (史) 神ノ崎遺跡（小値賀町） 【史】塔の首遺跡（対馬市） (有) 大吉戸神社の広鋒青銅矛（対馬市） (有) 恵比須山遺跡出土の 一括遺物134点（対馬市） (有) かがり松鼻遺跡 出土遺物一括（対馬市） 【特史】原の辻遺跡（杵岐市） 【重】長崎県原の辻遺跡出土品（杵岐市）

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
古墳時代	<p>前方後円墳の出現。</p> <p>古墳文化の展開。</p> <p>前方後円墳の終焉。</p>	<p>各地で古墳が築造される。</p>	<p>【史】根曾古墳群 (対馬市)</p> <p>【史】沓岐古墳群 (沓岐市)</p> <p>【史】曲崎古墳群 (長崎市)</p> <p>(史)大塚山古墳 (沓岐市)</p> <p>(史)出居塚古墳 (対馬市)</p> <p>(史)彼杵の古墳 (東彼杵町)</p> <p>(史)岳崎古墳 (平戸市)</p> <p>(史)笠松天神社古墳 (平戸市)</p> <p>(史)サイノヤマ古墳 (対馬市)</p> <p>(史)鬼の岩屋 (沓岐市)</p> <p>(史)長戸鬼塚古墳 (諫早市)</p> <p>【史】矢立山古墳群 (対馬市)</p>
飛鳥時代	<p>593 厩戸王が推古天皇の摂政となる。</p> <p>645 乙巳の変。</p> <p>663 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れる。</p> <p>664 対馬・沓岐等に防人と烽が置かれる。</p>	<p>667 対馬に金田城築城。</p>	<p>【特史】金田城跡 (対馬市)</p>
奈良時代	<p>710 平城京へ遷都。</p>	<p>741 沓岐・対馬に嶋分寺の建立が命じられる。</p>	<p>(史)沓岐国分寺跡 (沓岐市)</p>
平安時代	<p>794 平安京へ遷都。</p> <p>1016 藤原道長が摂政となる。</p> <p>1156 保元の乱。</p> <p>1159 平治の乱。</p> <p>1167 平清盛が太政大臣となる。</p> <p>1185 壇ノ浦の戦いで平家滅亡。</p>	<p>776 遣唐使船が青方に停泊。</p> <p>804 空海・最澄が乗った遣唐使船が川原浦を出港。 このころ滑石製石鍋の生産が始まり広域に流通。</p>	<p>【史】ホゲット石鍋製作遺跡 (西海市)</p>

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
鎌倉時代	<p>1185 守護・地頭の設置。</p> <p>1192 源頼朝が征夷大將軍となる。</p> <p>1274 元軍が博多を攻撃（文永の役）。</p> <p>1281 元軍が再び博多湾を攻撃（弘安の役）。</p> <p>1333 鎌倉幕府滅亡。</p>	<p>1274 元軍が対馬・壱岐に侵攻。</p> <p>1281 元軍が再び対馬・壱岐に侵攻。鷹島で暴風雨にあって壊滅。</p>	<p>(史) 文永の役新城古戦場（壱岐市）</p> <p>(史) 文永の役松浦家供養塔（松浦市）</p> <p>【史】鷹島神崎遺跡（松浦市）</p> <p>(史) 弘安の役瀬戸浦古戦場（壱岐市）</p>
室町時代	<p>1336 足利尊氏が入京し光明天皇を立てる。後醍醐天皇が吉野に移る。</p> <p>1392 足利義満が南北朝を統一。</p> <p>1404 明と勘合貿易を開始。</p> <p>1467 応仁の乱始まる。</p> <p>1543 鉄砲伝来。</p> <p>1549 ザビエルによるキリスト教伝来。</p> <p>1573 織田信長が足利義昭を追放。室町幕府滅亡。</p>	<p>1419 朝鮮が対馬に侵攻（応永の外寇）。</p> <p>1474頃 西郷氏が伊佐早の高城に移ったと伝わる。</p> <p>1507 王之浦納の乱。</p> <p>1540頃 明の商人王直が五島・福江に来航。日明貿易を行う。</p> <p>1550 ポルトガル船が平戸に入港。ザビエルが平戸で布教。</p> <p>1562 ポルトガル船が横瀬浦に入港。</p> <p>1563 大村純忠が受洗しキリシタン大名となる。</p> <p>1565 ポルトガル船が福田に入港。</p> <p>1567 ポルトガル船が口之津に入港。</p> <p>1569 長崎にトードス・オス・サントス教会建設。</p> <p>1571 ポルトガル船が長崎に入港。</p>	<p>(史) 六角井（五島市）</p> <p>(史) 南蛮船来航の地（西海市）</p> <p>(史) 南蛮船来航の地（南島原市）</p> <p>(史) トードス・オス・サントス跡</p>

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
安土桃山時代	<p>1576 織田信長が安土城の築城を開始。</p> <p>1582 本能寺の変。</p> <p>1592 豊臣秀吉による朝鮮出兵（文祿の役）。</p> <p>1597 第2次朝鮮出兵（慶長の役）。</p>	<p>1580 有馬にセミナーヨ設置。 有馬晴信が受洗しキリシタン大名となる。 大村純忠が長崎、茂木をイエズス会に寄進。</p> <p>1582 キリシタン大名がローマ教皇に少年使節を派遣。</p> <p>1587 豊臣秀吉による九州平定。 長崎、茂木、浦上を直轄領とする。</p> <p>1592 松浦鎮信、有馬晴信、大村喜前、宗義智らが朝鮮に出陣。 長崎に奉行、代官、町年寄が置かれる。</p> <p>1597 長崎の西坂で26人のキリシタンを処刑。 (日本二十六聖人殉教)</p> <p>1599頃 大村喜前が玖島城を築城したと伝わる。</p>	<p>【史】日野江城跡（南島原市）</p> <p>【史】勝本城跡（荅岐市）</p> <p>【史】清水山城跡（対馬市）</p> <p>(史) 日本二十六聖人殉教地（長崎市）</p>
江戸時代	<p>1600 関ヶ原の戦い。</p> <p>1603 徳川家康が江戸幕府を開く。</p> <p>1614 幕府が全国にキリスト教禁止令。</p>	<p>このころ県内で陶器の生産開始。</p> <p>1605 波佐見で陶磁器の生産開始。</p> <p>1607 徳川家康の招きに応じて、朝鮮国王が使節を派遣 (朝鮮通信使)。</p> <p>1609 オランダが平戸に商館設置。</p> <p>1613 イギリスが平戸に商館設置。</p> <p>1614 長崎の教会群が破却される。</p> <p>1620 我が国最初の黄檗宗寺院である興福寺が創建。</p> <p>1622 長崎の西坂で55人のキリシタンを処刑(元和の大殉教)。</p> <p>1623 平戸のイギリス商館が閉鎖。</p> <p>1624 松倉重政が島原城を築城。 鄭成功が平戸で誕生。</p> <p>1634 長崎の中島川に眼鏡橋架橋。</p>	<p>(史) 葭之本窯跡（佐世保市）</p> <p>(史) 中野窯跡（平戸市）</p> <p>【史】肥前波佐見陶磁器窯跡（波佐見町）</p> <p>【史】平戸和蘭商館跡（平戸市）</p> <p>(史) 興福寺寺域（長崎市）</p> <p>(史) 島原城跡（島原市）</p> <p>(史) 鄭成功居宅跡（平戸市）</p> <p>【重】眼鏡橋（長崎市）</p>

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
江戸時代	<p>1639 ポルトガル人の来航禁止。 オランダ、中国のみ貿易が許される。</p> <p>1825 外国船打払令を發布。</p> <p>1853 ベリーが浦賀に来航。</p> <p>1858 日米修好通商条約締結。</p> <p>1867 大政奉還。</p>	<p>1637 島原・天草一揆（島原の乱）勃発。</p> <p>1641 平戸のオランダ商館を出島に移す。 福岡藩による長崎警備開始。</p> <p>1642 佐賀藩による長崎警備開始。</p> <p>1657 大村領でキリシタン600人余が発覚（郡崩れ）。</p> <p>1670 大村藩の藩校として集義館ができる。</p> <p>1689 唐人屋敷ができる。</p> <p>1718 松浦棟により平戸城再築。</p> <p>1790 大村藩の藩校として集義館に代わって五教館ができる。</p> <p>1797 大村藩から五島藩へ農民の移住が進む。</p> <p>1808 フェートン号事件。 このころ益富家による捕鯨業が最盛期。</p> <p>1824 シーボルトが鳴滝塾を開く。</p> <p>1839 諫早の本明川に眼鏡橋を架橋。</p> <p>1846 フランス軍艦が長崎に入港。</p> <p>1849 アメリカ軍艦が長崎に入港。</p> <p>1853 ロシア軍艦4隻が長崎に入港。</p> <p>1857 長崎に医学伝習所設置。 長崎浴鉄所の建設。</p> <p>1858 長崎開港。居留地の建設開始。</p> <p>1859 グラバーが長崎に来る。</p> <p>1863 五島藩の福江城が完成。</p> <p>1865 大浦天主堂で「信徒発見」が起こる。</p>	<p>【史】原城跡（南島原市）</p> <p>【史】出島和蘭商館跡（長崎市）</p> <p>(史) 五教館御成門（大村市）</p> <p>【史】長崎台場跡（長崎市） (史) 鯨組主益富家居宅跡（平戸市） 【史】シーボルト宅跡（長崎市）</p> <p>【重】眼鏡橋（諫早市）</p> <p>【重】旧グラバー住宅（長崎市） (史) 石田城跡（五島市） 【史】大浦天主堂境内（長崎市）</p>

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
明治時代	1868 年号が明治に変わる。 1871 廃藩置県。 1873 キリシタン禁制の高札撤去。 1894 日清戦争開戦。 1904 日露戦争開戦。	1869 高島北溪井坑で出炭開始。 1887 対馬の浅茅湾4箇所に砲台整備。 1889 佐世保鎮守府の設置。 佐世保軍水道整備。 1891 松浦炭鉱の採掘開始。 長崎市の水道施設の整備。 1896 竹敷海軍要港部の設置。 1897 長崎－長与間と早岐－武雄間に鉄道開通。 1898 対馬の13カ所に堡壘整備。 1900 対馬の万閑運河掘削。 1903 佐世保に海軍造船廠・海軍工廠を整備。 1906 佐世保に海軍橋を架橋。 1907 崎戸炭鉱の掘削開始。	【史】高島炭鉱跡（長崎市） 【重】本河内水源地下水道施設（長崎市）
大正時代	1914 第1次世界大戦開戦。	1915 長崎に路面電車が開通。 1916 佐世保に立神係船池を整備。 1923 長崎－上海間に定期航路開設。 大村に大村海軍航空隊を開設。 1926 長崎の日見トンネル開通。	
昭和時代	1929 世界恐慌。 1941 太平洋戦争開戦。	1933 志岐に黒崎砲台を設置。 1934 雲仙が国立公園に指定。 1941 佐世保海軍工廠川棚分工場が開設。 大村に第21海軍航空廠を設置。 1944 佐世保大空襲。	

時代	国内の主なできごと	県内の主なできごと	関連する史跡等 ※【重】重要文化財・【特史】国特別史跡・【史】国史跡 【登】国登録・(史)県史跡
昭和時代	<p>1945 ポツダム宣言受諾。 第2次世界大戦終戦。 1950 朝鮮戦争開戦。 1951 サンフランシスコ講和条約に調印。</p> <p>1964 東京オリンピック開催。 1970 大阪万博開催。 1972 沖縄が日本に復帰。 日中共同声明。 1973 オイルショック。</p> <p>1987 国鉄の分割・民営化。</p>	<p>1945 広島・長崎に原子爆弾投下。</p> <p>1951 平和公園の整備開始。 1955 西海国立公園指定。 西海橋開通。 1957 諫早大水害。 1967 長崎バイパス開通。 1970 松島炭鉱大島鉱業所が閉山。</p> <p>1974 端島炭坑が閉山。 1975 大村に世界初の海上空港が開港。 1977 平戸大橋が開通。 1982 長崎大水害。 1986 中華人民共和国の長崎領事館の開設。</p>	<p>【史】長崎原爆遺跡（長崎市）</p> <p>【登】平和公園（長崎市）</p> <p>【重】西海橋（佐世保市・西海市）</p> <p>(史) 松島炭鉱第4竖坑（西海市）</p>
平成時代	<p>1991 バブル経済の崩壊。</p> <p>1995 阪神・淡路大震災。</p> <p>2011 東日本大震災。</p>	<p>1990 長崎自動車道が開通。 1991 雲仙普賢岳の大火砕流が発生。 生月大橋・若松大橋が開通。 1992 佐世保にハウステンボスがオープン。 1998 西海パールラインが開通。 1999 大島大橋が開通。 2005 女神大橋が開通。 2008 諫早干拓事業が完了。 2009 鷹島肥前大橋が開通。 島原半島が世界ジオパークに認定。 2011 伊王島大橋が開通。 2015 明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に登録。 2017 朝鮮通信使に関する記録が世界の記憶に登録。 2018 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界文化遺産に登録。</p>	

4. 長崎県刊行文化財調査報告書一覧 (R3.1.1 現在)

(1) 有形文化財 (建造物)

報告書名	刊行年	シリーズ番号
長崎県の民家	1972	長崎県文化財調査報告書第12集
長崎県のカトリック教会	1977	長崎県文化財調査報告書第29集
長崎県の近世社寺	1985	長崎県文化財調査報告書第79集
長崎県の近代化遺産	1998	長崎県文化財調査報告書第140集
長崎県の近代和風建築	2004	長崎県文化財調査報告書第181集

(2) 有形文化財 (美術工芸品)

報告書名	刊行年	シリーズ番号
日蘭関係資料	1979	長崎県文化財調査報告書第39集
キリシタン関係資料	1980	長崎県文化財調査報告書第48集
長崎唐寺関係所蔵品目録	1982	長崎県文化財調査報告書第61集
大陸渡来文物緊急調査報告	1992	長崎県文化財調査報告書第107集
長崎奉行所関係文書調査報告	1997	長崎県文化財調査報告書第131集
日蘭関係資料II	2004	長崎県文化財調査報告書第180集
対馬宗家文庫史料一紙物目録	2009	長崎県文化財調査報告書第200集
対馬宗家文庫史料冊子物目録	2012	長崎県文化財調査報告書第208集
対馬宗家文庫史料絵図類等目録	2012	長崎県文化財調査報告書第209集
対馬宗家文庫史料朝鮮訳官発給ハングル書簡調査報告書	2015	長崎県文化財調査報告書第212集

(3) 無形・民俗文化財

報告書名	刊行年	シリーズ番号
民俗資料調査報告書	1965	長崎県文化財調査報告書第3集
有明海沿岸地区の民俗	1972	長崎県文化財調査報告書第11集
対馬西岸阿連・志多留の民俗	1972	長崎県文化財調査報告書第13集
下五島貝津・大串の民俗	1974	長崎県文化財調査報告書第15集
長崎県民俗地図	1976	長崎県文化財調査報告書第23集
西彼杵半島猪垣分布調査	1977	長崎県文化財調査報告書第27集
平戸市野子地域の民俗・福島町土谷の民俗	1977	長崎県文化財調査報告書第28集
長崎県の民俗芸能・民謡 1 北松浦郡・松浦市・平戸市・佐世保市	1977	長崎県文化財調査報告書第34集
世知原町開作免の民俗	1978	長崎県文化財調査報告書第36集
長崎県の民俗芸能・民謡 2 長崎市・大村市・東彼杵郡・西彼杵郡	1979	長崎県文化財調査報告書第41集
長崎県の海女	1979	長崎県文化財調査報告書第42集
長崎県の民俗芸能・民謡 3 諫早市・北高来郡・南高来郡・島原市	1979	長崎県文化財調査報告書第43集
大村湾の漁労習俗	1980	長崎県文化財調査報告書第46集
長崎県の民俗芸能・民謡 4 五島列島(福江市・南松浦郡・北松浦郡小値賀町・宇久町)	1980	長崎県文化財調査報告書第47集
長崎県の民俗芸能・民謡 5 壱岐・対馬	1981	長崎県文化財調査報告書第52a集
橘湾の漁労習俗	1983	長崎県文化財調査報告書第63集
長崎県の農具調査 前編	1985	長崎県文化財調査報告書第70集
長崎県の農具調査 後編	1986	長崎県文化財調査報告書第80集
長崎県の民謡	1987	長崎県文化財調査報告書第88集
長崎県の諸職調査	1990	長崎県文化財調査報告書第96集
長崎県の民俗芸能	1995	長崎県文化財調査報告書第120集
長崎県のカクレキリシタン	1999	長崎県文化財調査報告書第153集
長崎県の祭り	2002	長崎県文化財調査報告書第170集

(4) 史跡名勝天然記念物

報告書名	刊行年	シリーズ番号
男女群島特別調査報告書	1968	長崎県文化財調査報告書第6集
旧島原藩薬園跡環境整備報告	1977	長崎県文化財調査報告書第30集
温泉岳保存管理計画策定書	1987	長崎県文化財調査報告書第89集
対馬天然記念物実態調査報告書	1991	長崎県文化財調査報告書第102集
長崎県天然記念物実態調査報告書	1991	長崎県文化財調査報告書第103集

(5) 文化的景観

報告書名	刊行年	シリーズ番号
長崎県内の多様な集落が形成する文化的景観保存調査報告書	2013	長崎県文化財調査報告書第210集

(6) 埋蔵文化財（保存目的調査）

①長崎県教育委員会刊行

報告書名	刊行年	シリーズ番号
長崎県遺跡地名表－埋蔵文化財包蔵地一覧－	1962	長崎県文化財調査報告書第1集
五島遺跡調査報告	1964	長崎県文化財調査報告書第2集
福井洞穴調査報告（図録編）	1966	長崎県文化財調査報告書第4集
深堀遺跡	1967	長崎県文化財調査報告書第5集
宮下遺跡調査報告（図録編）	1968	長崎県文化財調査報告書第7集
対馬	1969	長崎県文化財調査報告書第8集
宮下遺跡調査報告（解説編）	1971	長崎県文化財調査報告書第9集
対馬－浅茅湾とその周辺の考古学調査－	1974	長崎県文化財調査報告書第17集
里田原遺跡	1976	長崎県文化財調査報告書第25集
原の辻遺跡	1976	長崎県文化財調査報告書第26集
原の辻遺跡（Ⅱ）	1977	長崎県文化財調査報告書第31集
里田原遺跡	1977	長崎県文化財調査報告書第32集
原の辻遺跡（Ⅲ）	1978	長崎県文化財調査報告書第37集
里田原遺跡	1978	長崎県文化財調査報告書第38集
長崎県遺跡地図	1987	長崎県文化財調査報告書第87集
県内古墳詳細分布調査報告書	1992	長崎県文化財調査報告書第106集
県内重要遺跡範囲確認調査報告書	1993	長崎県文化財調査報告書第109集
長崎県遺跡地図 －長崎市・諫早市・大村市・西彼杵郡・北高来郡地区－	1994	長崎県文化財調査報告書第110集
長崎県遺跡地図 －島原市・南高来郡地区－	1994	長崎県文化財調査報告書第111集
長崎県遺跡地図 －壱岐地区－	1994	長崎県文化財調査報告書第112集
県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅱ	1994	長崎県文化財調査報告書第114集
長崎県遺跡地図 －福江市・南松浦郡地区－	1995	長崎県文化財調査報告書第117集
長崎県遺跡地図－対馬地区－	1995	長崎県文化財調査報告書第118集
長崎県遺跡地図 －佐世保市・平戸市・松浦市・北松浦郡・東彼杵郡地区－	1995	長崎県文化財調査報告書第119集
県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅲ	1995	長崎県文化財調査報告書第122集
県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅳ	1996	長崎県文化財調査報告書第130集
県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅴ	1997	長崎県文化財調査報告書第133集
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅰ	1998	長崎県文化財調査報告書第147集
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅱ	1999	長崎県文化財調査報告書第151集

報告書名	刊行年	シリーズ番号
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅲ	2000	長崎県文化財調査報告書第156集
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅳ	2001	長崎県文化財調査報告書第159集
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅴ	2002	長崎県文化財調査報告書第165集
県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅵ	2003	長崎県文化財調査報告書第172集
地域拠点遺跡内容確認発掘調査報告書Ⅰ	2004	長崎県文化財調査報告書第176集
地域拠点遺跡内容確認発掘調査報告書Ⅱ	2005	長崎県文化財調査報告書第185集
地域拠点遺跡内容確認発掘調査報告書Ⅲ	2006	長崎県文化財調査報告書第188集
長崎県中近世城館跡分布調査報告書Ⅰ	2010	長崎県文化財調査報告書第206集
長崎県中近世城館跡分布調査報告書Ⅱ	2011	長崎県文化財調査報告書第207集

②原の辻遺跡調査事務所刊行

報告書名	刊行年	シリーズ番号
原の辻遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第11集
原の辻遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第16集
原の辻遺跡	2000	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第18集
原の辻遺跡	2000	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第19集
原の辻遺跡	2001	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第21集
原の辻遺跡	2001	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第22集
原の辻遺跡	2002	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第24集
原の辻遺跡	2002	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第25集
原の辻遺跡	2003	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第26集
原の辻遺跡	2004	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第28集
原の辻遺跡 総集編Ⅰ	2005	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第30集
原の辻遺跡	2005	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第31集
原の辻遺跡	2006	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第33集
原の辻遺跡	2007	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第36集
原の辻遺跡	2009	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第40集

③長崎県埋蔵文化財センター刊行

報告書名	刊行年	シリーズ番号
原の辻遺跡	2011	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第1集
原の辻遺跡	2012	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第5集
原の辻遺跡-原の辻遺跡出土品再整理事業に伴う報告書-	2012	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第6集
原の辻遺跡	2013	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第9集
原の辻遺跡	2014	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第12集
原の辻遺跡	2015	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第14集
原の辻遺跡 総集編Ⅱ	2016	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第18集
原の辻遺跡	2017	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第20集
鷹島海底遺跡	2018	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第25集
原の辻遺跡	2018	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第27集
原の辻遺跡	2019	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第32集

(7) 埋蔵文化財（開発対応）

①長崎県教育委員会刊行

書名	刊行年	シリーズ番号
堂崎遺跡調査報告書	1971	長崎県文化財調査報告書第10集
里田原遺跡（図録）	1972	長崎県文化財調査報告書第14集
里田原遺跡（略報Ⅱ）	1974	長崎県文化財調査報告書第18集
里田原遺跡	1975	長崎県文化財調査報告書第21集
諫早北バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰ集（図録編）	1976	長崎県文化財調査報告書第24集
金石城緊急発掘調査報告書	1977	長崎県文化財調査報告書第33集
長崎県埋蔵文化財調査集Ⅰ	1978	長崎県文化財調査報告書第35集

報告書名	刊行年	シリーズ番号
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅱ	1979	長崎県文化財調査報告書第45集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅲ	1980	長崎県文化財調査報告書第50集
串島遺跡	1980	長崎県文化財調査報告書第51集
ケイマンゴー遺跡	1980	長崎県文化財調査報告書第52集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ	1981	長崎県文化財調査報告書第54集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅳ	1981	長崎県文化財調査報告書第55集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ	1982	長崎県文化財調査報告書第56集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅴ	1982	長崎県文化財調査報告書第57集
堂崎遺跡 - 長崎県有家町所在の海中干潟遺跡 -	1982	長崎県文化財調査報告書第58集
針尾人崎遺跡	1982	長崎県文化財調査報告書第60集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ	1983	長崎県文化財調査報告書第64集
諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ	1983	長崎県文化財調査報告書第65集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅵ	1983	長崎県文化財調査報告書第66集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅶ	1984	長崎県文化財調査報告書第67集
今福遺跡Ⅰ	1984	長崎県文化財調査報告書第68集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅳ	1984	長崎県文化財調査報告書第69集
名切遺跡	1985	長崎県文化財調査報告書第71集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅴ	1985	長崎県文化財調査報告書第72集
西ノ角遺跡	1985	長崎県文化財調査報告書第73集
諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ	1985	長崎県文化財調査報告書第74集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅷ	1985	長崎県文化財調査報告書第75集
楼楷田遺跡	1985	長崎県文化財調査報告書第76集
今福遺跡Ⅱ	1985	長崎県文化財調査報告書第77集
百花台遺跡	1985	長崎県文化財調査報告書第78集
上原遺跡	1986	長崎県文化財調査報告書第81集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅸ	1986	長崎県文化財調査報告書第82集
殿崎遺跡	1986	長崎県文化財調査報告書第83集
今福遺跡Ⅲ	1986	長崎県文化財調査報告書第84集
諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ	1986	長崎県文化財調査報告書第85集
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅹ	1987	長崎県文化財調査報告書第86集
中道壇遺跡	1988	長崎県文化財調査報告書第90集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅠ	1988	長崎県文化財調査報告書第91集
百花台広域公園建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	1988	長崎県文化財調査報告書第92集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅵ	1989	長崎県文化財調査報告書第93集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅡ	1989	長崎県文化財調査報告書第94集
魚洗川B遺跡	1989	長崎県文化財調査報告書第95集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅢ	1990	長崎県文化財調査報告書第97集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ	1990	長崎県文化財調査報告書第98集
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅷ	1991	長崎県文化財調査報告書第99集
礫石原遺跡	1991	長崎県文化財調査報告書第100集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅣ	1991	長崎県文化財調査報告書第101集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅤ	1992	長崎県文化財調査報告書第104集
上大垣遺跡	1992	長崎県文化財調査報告書第105集
長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅥ	1993	長崎県文化財調査報告書第108集
長崎県埋蔵文化財調査年報Ⅰ	1994	長崎県文化財調査報告書第113集
中木場遺跡	1994	長崎県文化財調査報告書第115集
県道国見雲仙線改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	1994	長崎県文化財調査報告書第116集
長崎県埋蔵文化財調査年報Ⅱ	1995	長崎県文化財調査報告書第121集
万才町遺跡	1995	長崎県文化財調査報告書第123集
原の辻遺跡	1995	長崎県文化財調査報告書第124集
長崎県埋蔵文化財調査年報Ⅲ	1996	長崎県文化財調査報告書第125集
伊木力遺跡Ⅰ	1996	長崎県文化財調査報告書第126集

報告書名	刊行年	シリーズ番号
黒丸遺跡Ⅰ	1996	長崎県文化財調査報告書第127集
中木場遺跡Ⅱ	1996	長崎県文化財調査報告書第128集
中木場遺跡Ⅲ	1996	長崎県文化財調査報告書第129集
黒丸遺跡Ⅱ	1997	長崎県文化財調査報告書第132集
伊木力遺跡Ⅱ	1997	長崎県文化財調査報告書第134集
長崎県埋蔵文化財調査年報Ⅳ	1997	長崎県文化財調査報告書第135集
稗田原遺跡Ⅰ	1997	長崎県文化財調査報告書第136集
広平遺跡	1997	長崎県文化財調査報告書第137集
棧原城跡	1997	長崎県文化財調査報告書第138集
石田城跡	1997	長崎県文化財調査報告書第139集
大浜遺跡	1998	長崎県文化財調査報告書第141集
蒲河遺跡	1998	長崎県文化財調査報告書第142集
沖城跡	1998	長崎県文化財調査報告書第143集
桜町遺跡	1998	長崎県文化財調査報告書第144集
稗田原遺跡Ⅱ	1998	長崎県文化財調査報告書第145集
長崎奉行所（立山役所）跡	1998	長崎県文化財調査報告書第146集
長崎県埋蔵文化財調査年報 5	1998	長崎県文化財調査報告書第148集
馬乗石遺跡	1998	長崎県文化財調査報告書第149集
長崎県埋蔵文化財調査年報 6	1999	長崎県文化財調査報告書第150集
稗田原遺跡Ⅲ	1999	長崎県文化財調査報告書第152集
長崎県埋蔵文化財調査年報 7	2000	長崎県文化財調査報告書第155集
稗田原遺跡Ⅳ	2000	長崎県文化財調査報告書第157集
長崎県埋蔵文化財調査年報 8	2001	長崎県文化財調査報告書第158集
平野遺跡	2001	長崎県文化財調査報告書第160集
稗田原遺跡Ⅴ	2001	長崎県文化財調査報告書第161集
栄町遺跡	2001	長崎県文化財調査報告書第162集
石田城跡Ⅱ	2001	長崎県文化財調査報告書第163集
長崎県埋蔵文化財調査年報 9	2002	長崎県文化財調査報告書第164集
森岳城跡	2002	長崎県文化財調査報告書第166集
玖島城跡	2002	長崎県文化財調査報告書第167集
千里ヶ浜遺跡	2002	長崎県文化財調査報告書第168集
長崎県埋蔵文化財調査年報10	2003	長崎県文化財調査報告書第171集
森岳城跡Ⅱ	2003	長崎県文化財調査報告書第173集
供養川遺跡	2003	長崎県文化財調査報告書第174集
長崎県埋蔵文化財調査年報11	2004	長崎県文化財調査報告書第175集
長崎奉行所（立山役所）跡 炉粕町遺跡	2004	長崎県文化財調査報告書第177集
今屋敷家老敷跡	2004	長崎県文化財調査報告書第178集
下木場遺跡	2004	長崎県文化財調査報告書第179集
長崎県埋蔵文化財調査年報12	2005	長崎県文化財調査報告書第182集
長崎奉行所（立山役所）跡 岩原目付屋敷跡 炉粕町遺跡	2005	長崎県文化財調査報告書第183集
出島	2005	長崎県文化財調査報告書第184集
小野F遺跡	2005	長崎県文化財調査報告書第186集
長崎県埋蔵文化財調査年報13	2006	長崎県文化財調査報告書第187集
肥賀太郎遺跡	2006	長崎県文化財調査報告書第189集
門前遺跡	2006	長崎県文化財調査報告書第190集
長崎県埋蔵文化財調査年報14	2007	長崎県文化財調査報告書第191集
万才町遺跡Ⅱ	2007	長崎県文化財調査報告書第192集
開遺跡Ⅱ	2007	長崎県文化財調査報告書第193集
稗田原遺跡Ⅵ・下宮遺跡	2007	長崎県文化財調査報告書第194集
小野条里遺跡	2007	長崎県文化財調査報告書第195集
長崎県埋蔵文化財調査年報15	2008	長崎県文化財調査報告書第196集
勿木城跡	2008	長崎県文化財調査報告書第197集

報告書名	刊行年	シリーズ番号
稗田原遺跡Ⅶ	2008	長崎県文化財調査報告書第198集
魚洗川B遺跡Ⅱ	2008	長崎県文化財調査報告書第199集
黒丸遺跡Ⅲ	2009	長崎県文化財調査報告書第201集
魚洗川B遺跡Ⅲ	2009	長崎県文化財調査報告書第202集
長崎県埋蔵文化財調査年報16	2009	長崎県文化財調査報告書第203集
黒丸遺跡Ⅳ	2010	長崎県文化財調査報告書第204集
長崎県埋蔵文化財調査年報17	2010	長崎県文化財調査報告書第205集
今福遺跡Ⅱ	2015	長崎県文化財調査報告書第211集
黒丸遺跡	2016	長崎県文化財調査報告書第215集
小路口遺跡	2017	長崎県文化財調査報告書第213集
竹松遺跡	2017	長崎県文化財調査報告書第214集
立小路遺跡	2018	長崎県文化財調査報告書第216集
竹松遺跡	2019	長崎県文化財調査報告書第217集

②原の辻遺跡調査事務所刊行

書名	刊行年	シリーズ番号
原の辻・安国寺前A・安国寺前B遺跡	1997	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第1集
百合畑・山ノ神古墳・壱岐氏居館跡	1997	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第2集
観城跡	1997	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第3集
原の辻・鶴田遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第4集
原の辻遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第5集
鶴田遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第6集
興触遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第7集
車出遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第8集
原の辻遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第9集
鶴田遺跡	1998	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第10集
興触遺跡・興触川上遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第12集
興触川上遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第13集
大宝遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第14集
原の辻遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第15集
閨繰遺跡	1999	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第17集
原の辻遺跡	2000	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第20集
原の辻遺跡	2001	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第23集
原の辻遺跡	2003	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第27集
原の辻遺跡	2005	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第29集
原の辻遺跡	2006	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第32集
原の辻遺跡	2007	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第34集
原の辻遺跡	2007	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第35集
原の辻遺跡	2008	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第37集
原の辻遺跡	2008	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第38集
原の辻遺跡	2009	原の辻遺跡調査事務所調査報告書第39集

③長崎県埋蔵文化財センター刊行

書名	刊行年	シリーズ番号
諫早家御屋敷跡	2011	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第2集
長崎県埋蔵文化財調査年報18	2011	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第3集
長崎県埋蔵文化財調査年報19	2011	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第4集
尾和谷城跡	2012	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第7集
長崎県埋蔵文化財調査年報20	2013	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第8集
長崎県埋蔵文化財調査年報21	2014	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第10集
出島和蘭商館跡	2014	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第11集
長崎県埋蔵文化財調査年報22	2015	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第13集
長崎県埋蔵文化財調査年報23	2016	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第15集

報告書名	刊行年	シリーズ番号
小手田遺跡	2016	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第16集
下羽付遺跡	2016	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第17集
長崎県埋蔵文化財調査年報24	2017	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第19集
井樋堤塔跡	2017	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第21集
諫早家御屋敷跡Ⅱ	2017	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第22集
長崎県埋蔵文化財調査年報25	2017	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第23集
諫早農業高校遺跡	2018	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第24集
川端遺跡	2018	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第26集
長崎県埋蔵文化財調査年報26	2018	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第28集
竹松遺跡	2019	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第29集
大谷第一遺跡	2019	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第30集
太田遺跡	2019	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第31集
長崎県埋蔵文化財調査年報27	2019	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第33集
長崎県埋蔵文化財調査年報28	2020	長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第36集

④佐世保文化財調査事務所刊行

書名	刊行年	シリーズ番号
九州文化学園構内遺跡	2008	佐世保文化財調査事務所調査報告書第1集
武辺城跡、未永遺跡	2008	佐世保文化財調査事務所調査報告書第2集
竹辺C遺跡、竹辺D遺跡	2008	佐世保文化財調査事務所調査報告書第3集
門前遺跡	2008	佐世保文化財調査事務所調査報告書第4集
門前遺跡Ⅲ、武辺城跡Ⅱ	2010	佐世保文化財調査事務所調査報告書第5集
八幡山城跡	2011	佐世保文化財調査事務所調査報告書第6集
中ノ瀬遺跡	2012	佐世保文化財調査事務所調査報告書第7集
今福遺跡	2013	佐世保文化財調査事務所調査報告書第8集

⑤新幹線文化財調査事務所刊行

書名	刊行年	シリーズ番号
中田遺跡・専岩遺跡	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第1集
平野遺跡	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第2集
上三反田遺跡	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第3集
竹松遺跡Ⅰ	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第4集
竹松遺跡Ⅱ	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第5集
今富城跡	2017	新幹線文化財調査事務所調査報告書第9集
竹松遺跡Ⅲ	2018	新幹線文化財調査事務所調査報告書第6集
一里松遺跡	2018	新幹線文化財調査事務所調査報告書第7集
三城城下跡	2018	新幹線文化財調査事務所調査報告書第8集
平ノ前城跡	2019	新幹線文化財調査事務所調査報告書第10集
竹松遺跡Ⅳ	2019	新幹線文化財調査事務所調査報告書第11集
竹松遺跡Ⅴ	2020	新幹線文化財調査事務所調査報告書第12集

(8) 地域研究等

書名	刊行年	シリーズ番号
対馬の文化財	1974	長崎県文化財調査報告書第16集
壱岐の文化財	1975	長崎県文化財調査報告書第19集
対馬の遺跡	1975	長崎県文化財調査報告書第20集
下五島の文化財	1976	長崎県文化財調査報告書第22集
平戸・上五島地区の文化財	1979	長崎県文化財調査報告書第40集
松浦市とその周辺の文化財	1979	長崎県文化財調査報告書第44集
佐世保市とその周辺の文化財	1980	長崎県文化財調査報告書第49集
長崎街道	2000	長崎県文化財調査報告書第154集
平成13年度歴史の道整備推進事業 長崎街道整備活用計画報告書	2002	長崎県文化財調査報告書第169集

5. 用語解説

ア行

ICT【Information and Communication Technology の略称】

日本語では「情報通信技術」と訳される。

遺産影響評価

世界遺産の顕著な普遍的価値が、開発行為等によって受ける影響を計画段階で評価すること。

うののみくりや 宇野御厨

古代・中世に肥前国松浦郡におかれた天皇家や神社に食物などを貢納する所領地。東は伊万里湾沿岸から、平戸、現在の長崎県北松浦郡の大部分、五島列島に及ぶ広い地域。平安時代以降、松浦党の本拠となった。

エスディーズ
SDGs【Sustainable Development Goals の略称】

持続可能な国際目標の略。2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。

AR【Augmented Reality の略称】

日本語では「拡張現実」と訳される。実在する風景に仮想的な視覚情報を重ねて表示する。

カ行

外国人居留地

明治政府が外国人の居留および交易区域として特に定めた一定地域。近代日本で

は、江戸時代幕末の1858年に締結された日米修好通商条約など欧米5ヶ国との条約により、開港場に居留地を設置することが決められ、条約改正により1899年に廃止されるまで存続した。単に居留地ともいう。

環濠集落

周囲に堀をめぐらせた弥生時代の集落。

記念物

貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅などの遺跡で歴史上又は学術上の価値の高いものや、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳などの名勝地で芸術上又は鑑賞上価値が高いもの、さらには、動物、植物、地質鉱物で学術上価値が高いもの。

まようふうけんちく 擬洋風建築

明治時代初期、日本人大工によって西洋建築を模倣して設計・施工された洋風の建築。下見板張りペイント塗りや縦長窓・ベランダの配置などの特徴が挙げられる。

記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

重要無形民俗文化財以外の無形の民俗文化財のうち、特に記録作成等の必要があるものを国が選択したもの。

キリシタン版

16世紀後半から17世紀初めにかけて、日本でキリスト教の布教にあたった宣教師たちによって出版された文献の総称。天正18(1590)年イエズス会のバリニャーノが印刷機を伝えて以降、島原・天草・長崎など各地で刊行された。「天草版伊曾保物語」「日葡辞書」「ロドリゲス日本大文典」などが知られる。

緊急発掘調査

開発工事等によって破壊が予測される遺跡を対象に、記録として保存することを目的として、開発事業等の着手前に行う調査（記録保存調査）。

クラウドファンディング

インターネットを通じて不特定多数の人びとから資金調達を行い、商品開発や事業などを達成する仕組み。寄付型、購入型、投資型の3つのパターンがある。小額の出資から始められるため、出資者を集めやすいのが特徴。

原三国時代

朝鮮の歴史区分の一つ。紀元前108年に漢四郡が置かれ、百済・新羅が国家としての体裁を整える4世紀中頃までの時代を指す。

遣明船

室町幕府、細川氏、大内氏、有力寺院などが明に派遣した使節船。

古墳

3世紀の定型化した大型前方後円墳の出現を契機として、その影響を受けて、7世紀頃まで造営された墳丘をもつ墓。前方後円墳のほか、前方後方墳、円墳、方墳などがある。九州南部から東北中部にいたる列島各地に分布する。

サ行

（ジオパークの）サイト

ジオパークにおける、地質、地形、歴史、文化など、そのジオパークを特徴づける見どころ、見学場所。

ジオツーリズム

地層、岩石、火山など地球に関わる遺産の持つ学術的価値や人びとと関わりを学びながら楽しむ旅行。

試掘範囲確認調査

主に開発事業と周知の埋蔵文化財の取扱いを調整する際に、記録保存のための発掘調査の範囲、期間、経費等の算定に必要な情報を得るために実施される部分的な発掘調査。試掘調査は、周知の埋蔵文化財包蔵地範囲外において行う部分的な発掘調査。確認調査は、埋蔵文化財包蔵地内において行う部分的な発掘調査。

史跡

文化財の類型の一つ。貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅等の遺跡で我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもの。史跡のうち、学術上の価値が特に高く、我が国文化の象徴たるものが「特別史跡」となる。

支石墓

数個の支石で囲んだ埋葬施設の上に、大きな蓋石を置いた墓。日本には、弥生時代早期に朝鮮半島から伝来した。埋葬施設には、箱式石棺や木棺、甕棺、土壙墓などがある。

重要美術品

未指定文化財の海外流出を防止するために昭和8（1933）年に制定された旧「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」に基づき、国が認定した有形文化財。昭和25（1950）年の文化財保護法施行をもって、「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」は廃止されたが、同法附則の規定に基づき、当分の間その認定効力を有するものとされている。

荘園

公家や武家、寺社が大規模に領有支配した土地。荘園の起源は、奈良時代に新たに開墾した土地を私有できる制度にある。平安時代には、皇室や公家、大規模な寺社などへ免税のために寄進する荘園が全国各地に置かれた。16世紀末、豊臣秀吉による太閤検地によって荘園は消滅した。

書跡

筆で書いた文字。平安時代から鎌倉時代にかけて書かれた書道史上の優品や禅僧による名筆などがある。

信徒発見

1865年、大浦天主堂のプティジャン神父が浦上村の潜伏キリシタンから信仰の告白を受けた出来事。これにより、約250年にわたった禁教期のあいだキリスト教の信仰を守り続けていた信徒が「発見」された。

水中遺跡

海岸・海底・河川・湖沼及びそれらと連続する地域に所在する歴史事象や人類活動の痕跡。沈没船やその積荷、船上から何らかの事情で投棄された積載物、自然の営力で水没した陸上の遺跡、陸上から水中にかけて一体的に構築された港湾施設等がある。

世界遺産

「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づき、文化遺産及び自然遺産のうち、人類全体での顕著な普遍的価値を持つものとして世界遺産委員会により「世界遺産一覧表」に記載された遺産。記念工作物、建造物群、遺跡、自然の地域等で普遍的価値を有するものが対象。いずれも不動産であり、動産は対象とならない。

世界遺産委員会

「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」の各締約国が推薦する遺産に係る審査及びその結果に基づいた「世界遺産一覧表」への記載、世界遺産の保全状況の調査、並びに締約国の要請に基づく物件の保護のための国際的援助に係る供与の決定等を行う機関。

世界ジオパーク

ユネスコの定める基準に基づいて認定されたジオパーク。ジオパークとは、地球（ジオ）と公園（パーク）を組み合わせた言葉で、層、岩石、地形、火山、断層など地質学的な遺産を保護するため、地球活動の遺産を主な見どころとする自然公園のこと。

世界の記憶

ユネスコの定める基準に基づいて登録された手書き原稿、書籍、写真、映像など、世界的に価値の高い記録遺産。1992年に創設されたユネスコの事業で、その存在や重要性についての認識を高め、最適な技術によって保存や普遍的なアクセスを促進することを目的としている。

潜伏キリシタン

キリスト教禁教期の17～19世紀の日本において、社会的には普通に生活しながらひそかにキリスト教由来の信仰を続けようとしたキリシタン。なお、キリスト教が解禁となった19世紀後半以降も引き続き潜伏キリシタン以来の信仰を続けた人々のことを「かくれキリシタン」などと呼び、区別している。

台場

江戸時代、とくに異国船の打ち払いを目的に、沿岸に設置された砲台で要塞の一種。長崎港においては、承応4（1655）年に幕命により最初の「古台場」7箇所が築かれた。その後、文化5（1808）年のイギリス軍艦による港内侵入事件を受け5箇所の「新台場」が、同7年には4箇所の「増台場」が築かれた。

地溝帯

地溝とは、ほぼ平行に位置する断層によって区切られ、峡谷の形状をなしている地塊及び地形のことで、そのうち大規模なもの。アフリカ大陸東部の大地溝帯、ヨーロッパのライン地溝帯、シベリアのバイカル地溝帯などが有名。

鎮守府

明治時代に日本海軍が各海軍区の軍港に置いた本拠地。明治17（1884）年に横須賀に鎮守府を置いた後、同22（1889）年には呉・佐世保、同34（1901）年には舞鶴に設置された。鎮守府は、各海軍区を防備し、海軍工廠（艦艇の建造・修理、兵器の製造）や海軍病院、軍港水道など多くの施設の運営・監督を行った。

出島

江戸幕府の鎖国政策の一環として長崎に築造された扇形の人工島。寛永13（1636）年に完成し、ポルトガル人を收容した。同16（1639）年にポルトガル人の来航禁止措置がとられると、同18（1641）年には平戸オランダ商館が出島に移された。以後、幕末まで対外貿易の一大拠点として、また西洋の学術・文化

の窓口として繁栄した。

天然記念物

文化財の類型の一つ。動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、我が国の自然を記念するもの。

天領

江戸時代、徳川幕府が直接支配した領地の俗称。一般に幕府領、幕領ともいう。江戸幕府の法令には、御料（御領）、御料所、御代官所、御蔵入とあり、史書・地方書では公料（公領）または公儀御料所とも称した。

伝統的建造物群

文化財の類型の一つ。文化財保護法では、「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」をいう。

伝統的建造物群保存地区

伝統的建造物群である建造物や工作物と共に、これと一体をなしてその価値を形成している樹木、庭園、池、水路、石垣等の環境を保存するため、市町が定めた歴史的まとまりのある地区。国は、市町村の申出に基づき、我が国にとって特に価値の高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定する。

唐人屋敷

江戸時代に長崎に設置された中国人居住地区。現在の長崎市館内町のほぼ全域にあたる。元禄元（1688）年、長崎市中に散宿していた中国人は、密貿易対策として、十善寺郷にあった幕府御薬園の土地に集住させられた。元禄2（1689）年に完成し、広さは約9,400坪に及ぶ。

唐寺

江戸時代初期、長崎在住中国人が出身地別に建てた寺院。興福寺、福濟寺、崇福寺、聖福寺などがある。

登録記念物

史跡名勝天然記念物以外の記念物のうち、その文化財の保存・活用のための措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録したもの。遺跡関係、名勝地関係、動物・植物及び地質鉱物関係に分けられる。

登録有形文化財

重要文化財以外の有形文化財のうち、その文化財の保存・活用のための措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録したもの。届出制という緩やかな規制を通じて保存・活用を図る。登録有形文化財建造物については、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録する。

登録有形民俗文化財

重要有形民俗文化財以外の有形の民俗文化財のうち、その文化財の保存・活用のための措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録したもの。

豆粒文土器

県内最古の縄文土器。ラグビーボールの一端を切り落としたような形で、土器の表面に小さな豆粒状の粘土を押し付けて、文様としている。煤が付着していることから、煮炊きに使われたと考えられている。佐世保市泉福寺洞窟や福井洞窟で出土している。

ナイフ形石器

後期旧石器時代の石器の一つで、剥片の鋭い縁辺を一部残して、他を急角度に剥離調整したもの。槍先として使われた可能性がある。

長崎県文化財保護指導委員

文化財保護法に基づき、文化財保護のために活動する、県教育委員会が委嘱した指導委員。文化財の巡視や、所有者等に対して文化財の保護に関する指導・助言、地域住民に対して文化財保護思想の普及活動などを行う。日常的に文化財を巡視することで盗難・放火等に対する抑止効果や災害時における被災状況等の把握・報告を行うなどが期待されている。

長崎県文化財保護審議会

文化財保護法に基づき設置された外部有識者からなる審議会。県教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議する。委員は学識経験を有する者のうちから教育委員会が任命する。任期は2年。

二次交通

主に観光業において、拠点となる空港や鉄道の駅から目的地である観光地までの交通。観光振興を図るため、二次交通を充実させる様々な取組が進められている。

日本遺産

地方自治体からの申請に基づき、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定する制度。

ニューツーリズム

従来の観光旅行に対して、これまで観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れたテーマ性のある旅行。エコツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、産業観光などが挙げられる。

ハ行

廃藩置県

明治4（1871）年、明治政府が中央集権体制化を図るため、藩を廃して府県を置いたこと。これにより全国3府302県となり、旧藩知事は家禄と華族身分を保障され東京に集められた。代わって、中央から府知事・県知事が派遣された。同年末までに3府72県となった。

幕藩体制

江戸時代、幕府とその配下にある藩とを統治機構とした封建的支配体制。将軍を頂点とする中央集権体制で、領主が農民から年貢を徴収する制度から成り立っている。

ハザードマップ

災害予測地図とも呼ばれ、災害の原因となる現象が及ぶと推定される領域と、災害を引き起こすインパクトの大きさなどを示す地図。河川の氾濫を想定した洪水ハザードマップのほか、土砂災害、地震災害、火山災害など災害に応じたハザードマップが作成されている。

発掘調査

地下に埋没した人間活動の痕跡について、考古学的手法を用いて調査し、過去の人々の暮らしや営みを明らかにすること。

大学研究機関などが考古学研究のために行う学術目的調査のほか、行政機関が開発対応や史跡などの保存整備のために行う行政目的調査がある。

伴天連追放令

天正15（1587）年に豊臣秀吉が発令した、キリスト教宣教師（バテレン）の国外退去などを命じた法令。

版籍奉還

明治2（1869）年、全国の藩主がその土地（版）と人民（籍）とを朝廷に返還したこと。明治政府は、旧藩主を知藩事に任じ、公卿・諸侯の称を廃して華族とした。明治政府による中央集権強化のための改革で、廃藩置県の前提となった。

平戸オランダ商館

オランダ東インド会社の日本商館。慶長14（1609）年に江戸幕府から貿易を許可された東インド会社が平戸に設置した。貿易の進展にともない建物や倉庫が増築されるなど充実が図られたが、寛永17（1640）年、倉庫に西暦が記されていることを理由に、江戸幕府によって全ての建物の破壊が命じられた。これによりオランダとの貿易は長崎出島に移された。

VR【Virtual Realityの略称】

日本語では「仮想現実」と訳される。VRゴーグルやヘッドセットのディスプレイに映し出された仮想空間に、自分が実際にいるような体験ができる。

ふるさと教育

ふるさとに愛着と誇りを持ち、地域社会を担おうとする人材を育成するための取

組。郷土長崎の歴史や文化に関する学習、地域の活性化策を調べる探求型学習などがある。

文化財

一般的には、文化遺産や文化的財産のこと。文化財保護法では、文化財の種類的主要なものを、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6つの類型に分類する（行政による保護措置が図られていない、いわゆる未指定の文化財も含まれる）。その他、土地に埋蔵された文化財（埋蔵文化財）や文化財の材料製作・修理等のための伝統的な保存技術がある。

文化財の保存技術

文化財保存のために欠くことのできない伝統的な技術又は技能のこと。

文化財保護法

昭和25（1950）年に制定されたわが国の各種文化財の保護に関する諸制度を包括する統一法。

文化財保護ネットワーク

地域の文化財を守るため、各市町文化財担当課を中心に文化財所有者、地域住民、警察・消防など関係機関との連携体制を構築する長崎県独自の取組。

文化財保存活用地域計画

市町村が作成する文化財の法定計画で、文化財の保存・活用に関する今後の目標や具体的な内容を記載した基本的な行動計画。

文化的景観

文化財類型の一つ。文化財保護法では、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」とされている。

ヘリテージマネージャー

地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った専門的人材。とくに歴史的建造物については、公益社団法人日本建築士連合会を中心に、歴史的建造物の保全・活用に係る人材の育成に取り組んでいる。

包括的保存管理計画

世界文化遺産の登録推薦に当たり必要となる「世界遺産のための保存管理計画（management plan）」に対応する計画。本県の2つの世界遺産のように、国宝・重要文化財、史跡名勝天然記念物、重要文化的景観など複数にわたる多様な文化財を総体として捉え、適切に保存・管理するための包括的な計画を策定することとしている。

保存活用計画

個別の国指定文化財及び登録文化財を対象に、その所有者又は管理団体等が作成するもので、その文化財の保存・活用を進めていくための指針となる基本的な計画。

保存建造物

県や市町の指定文化財等に係る建造物で、現状変更の規制や保存のための措置が講じられている建造物のことであり、建築基準法で定められている。

保存目的調査

学術上の価値が高い遺跡の保存や活用を目的として、大学などの研究機関や地方公共団体によって行われる発掘調査。学術調査とも呼ばれる。

マ行

埋蔵文化財

文化財保護法では「土地に埋蔵されている文化財」とされている。考古学では、遺物・遺構・遺跡が相当する。

（周知の）埋蔵文化財包蔵地

「遺跡地図」等に登載され、遺跡台帳（埋蔵文化財包蔵地カード）に登録されることによって、一般に周知されている埋蔵文化財の所在地とその範囲。埋蔵文化財包蔵地内で土木工事等の開発行為を行う場合、事業者は事前に届出することが義務づけられている。

まつらとう 松浦党

肥前国松浦地方に割拠した中世武士団の総称。平安時代末期、嵯峨源氏の子孫がこの地に土着し、武士化。鎌倉幕府成立後は御家人となり、独立した弱小武士集団を松浦党と呼んだ。松浦一族以外の者も含まれているが、南北朝時代以後は他氏族の松浦一族化が顕著となった。地縁的共和的団結が図られた。

民俗文化財

文化財の類型の一つ。文化財保護法では、「衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの」としている。

有形のものを有形民俗文化財、無形のものを無形民俗文化財という。

無形文化遺産

「無形文化遺産の保護に関する条約」に基づき、口承による伝統及び表現、芸能、社会的慣習、儀式及び祭礼行事、自然及び万物に関する知識及び慣習、伝統工芸技術といった無形文化遺産のうち、「人類の無形文化遺産代表的な一覧表」に記載された遺産。

無形文化財

文化財の類型の一つ。文化財保護法では、「演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化財的所産で我が国にとって歴史上又は技術上価値の高いもの」としている。無形文化財のうち重要なものを重要無形文化財として指定され、同時にこれらの「わざ」を高度に体現・体得する保持者又は保持団体を認定する。

名勝

文化財の類型の一つ。名勝の種別の代表的な事例としては、公園、庭園、橋梁、築堤、花樹、花草、紅葉、緑樹などが挙げられる。名勝のうち価値が特に高いものを「特別名勝」として指定される。

メセナ

企業等が主として資金を提供して、文化・芸術活動を支援すること。メセナはフランス語で「文化芸術支援」を意味する。

（世界遺産の）モニタリング

世界遺産の構成資産を対象に、あらかじめ設定した指標に基づき、保全状況等の確認を定期的に行うこと。

ヤ行

U I ターン

UターンとIターンを組み合わせた用語。Uターンとは、進学・就職などの理由で上京した後、故郷に戻って就職もしくは転職すること。一方、Iターンとは、出身地以外の場所に就職もしくは転職することを指す。首都圏で育ち、就職をしたものの、転職を機に地方へ出て行くケースが該当する。

有形文化財

文化財の類型の一つ。文化財保護法では、建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書などで歴史上又は芸術上価値の高いものや、考古資料やその他の学術上価値の高い歴史資料を挙げる。このうち、建造物以外のものを美術工芸品と総称する。有形文化財のうち学術的価値が高いものを重要文化財とし、重要文化財のうち特に優れたものは「国宝」として指定される。

ユニークベニュー

本来の用途とは異なるニーズに応じて、特別に貸し出される会場のこと。歴史的建造物や神社仏閣・城跡・美術館・博物館など、独特な雰囲気を持つ会場で、会議・レセプション・イベント等を実施することにより、特別感や地域特性を演出することを目的としている。

ユニバーサルツーリズム

年齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が誰もが気兼ねなく参加できる旅行。観光施設や宿泊施設のバリアフリー化や目の不自由な方への音声案内などの受け入れ側の取組が求められる。

溶岩ドーム

火山から粘性の高い溶岩が地下のマグマ溜まりから次々と供給され、押し出されてできたドーム状の地形。溶岩円頂丘ともいう。

様式主義的建築

西洋の過去の建築様式を取り入れて設計された建築。

ラ行

律令制

唐から継受した律令法に基づき構築された制度。律は刑法、令はそれ以外の諸規定を集成したもの。日本では、7世紀後半から10世紀頃まで続いた。

リビングヒストリー

生きた歴史体験プログラムのこと。史料や研究資料等に基づいて、往時を再現した復元行事・歴史体験事業の実施、及び当時の調度品や衣装の整備・展示等を通じて、歴史的な出来事や当時の生活を再現するコンテンツを開発することで、来訪者に対して体感・体験を通じて文化財の理解を促進するとともに、文化財に新たな付加価値を付与する取組み。

歴史の道

歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・街道・水路などの交通関連遺跡。文化庁は、平成8年度に「歴史の道百選」の選定を行い、第一次選定で78カ所の街道・運河を選定した。令和元年度には、新たに36件の道を選定し（既選定への追加選定19件）、現在「歴史の道百選」は114件となっている。